

平成24年度伊勢崎市教育委員会  
事業点検・評価報告書

平成25年5月

伊勢崎市教育委員会



# 平成24年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条第1項の規定により、教育委員会自らが平成24年度の所管事業の管理及び執行の状況について、学識経験者からご意見をいただきながら、教育行政方針に掲げた活動づくりの8施策に基づき点検及び評価を行い、その結果を次のとおり報告します。

平成25年5月

伊勢崎市教育委員会

## 《参 考》

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I はじめに	
1 教育委員会と点検・評価	1
2 教育委員会の活動状況	2
II 平成24年度教育行政方針の概要	12
III 点検・評価の結果（学識経験者の意見）	
1 子どもの成長に応じた学校教育の充実	17
2 心豊かな地域社会の形成	25
3 市民が主役の生涯学習の充実	31
4 読書の街づくりの推進	34
5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成	38
6 安心・安全を大切にした健康教育の充実	41
7 奉仕活動の支援・充実と活用	47
8 教育環境の整備・充実	50
IV おわりに	55

# I はじめに

## 1 教育委員会と点検・評価

教育委員会制度は、委員の合議により教育行政に関する基本方針を毎年度決定し、その方針に従い教育長及び事務局が具体的な教育行政事務を行うものです。

本市教育委員会は、教育長を含めた5人の委員で構成され、毎年、教育行政方針を決定し、その方針に従い教育行政を推進しております。報告書は、法律に関わる報告のみならず、当該年度の事業の進捗状況、成果などを点検及び評価し、翌年度の教育行政方針に反映させるための作成でもあります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨を踏まえ、市民の皆様には教育行政についてのご理解とご助言をいただくため、平成24年度の教育行政方針に掲げた「活動づくりの8施策」に基づく重点事業の執行状況について点検及び評価し、公表することとしました。

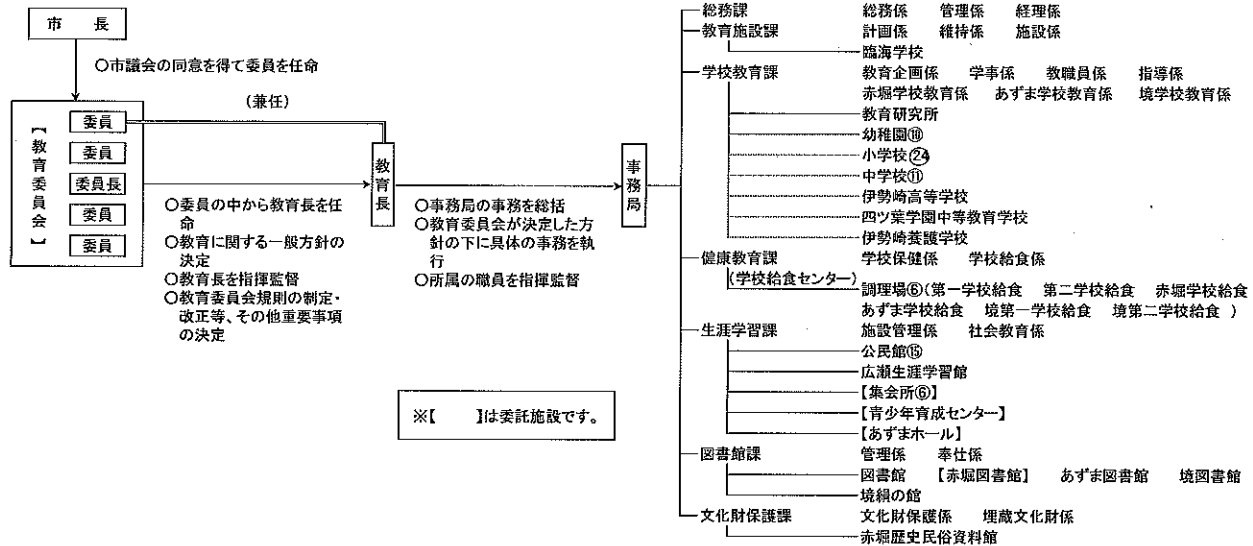
この8施策とは、1 子どもの成長に応じた学校教育の充実、2 心豊かな地域社会の形成、3 市民が主役の生涯学習の充実、4 読書の街づくりの推進、5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成、6 安心・安全を大切に健康教育の充実、7 奉仕活動の支援・充実と活用、8 教育環境の整備・充実です。

また、教育施策の実施に向けて全体を統括調整している教育委員会事務局は、総務課、教育施設課、学校教育課、健康教育課、生涯学習課、図書館課、文化財保護課の7課で構成され、学校・幼稚園、学校給食調理場、公民館及び図書館などの教育機関等は86施設あります。

なお、教育委員会の権限に属する事務のうち、スポーツに関すること及び文化に関することは、一部を除き市長に事務委任してあります。

(詳細は14ページを参照してください。また、伊勢崎市のホームページに教育行政方針の全文が掲載してあります。ホームページトップの「組織から探す」から入り、教育委員会>総務課とお進みください。また、市役所本庁舎及び各支所の市民情報コーナーに冊子を置いてあります。)

## 【教育委員会組織図】



## 2 教育委員会の活動状況

平成 24 年度の教育委員会の会議などの活動状況は、次のとおりです。

### (1) 会議の開催状況

#### ア 開催回数

教育委員による会議は、定例会と臨時会があり、平成 24 年度は次のとおりです。

また、会議終了後、委員協議会を適宜開催するとともに、初めての試みとして委員勉強会を開催しました。その中で教育委員会の現状や課題等を報告するとともに、随時教育委員による意見交換会を実施し、課題解決に向けて共通認識を深めました。

定例会	12 回
臨時会	3 回
委員協議会	11 回 (議題：23 件)
委員勉強会 (施設見学を含む。)	6 回 (議題：11 件)

#### イ 審議内容

会議で審議された案件は 52 件で、主な内容は次のとおりでした。

条例の制定・改廃に関する事	6 件
規則・訓令の制定・改廃に関する事	9 件

各種委員の委嘱に関すること	12 件
予算、契約、用地取得に関すること	10 件
その他	15 件

## ウ 実施事業等の報告

会議では、審議のほかに実施事業などの報告も行います。

平成 24 年度については、新たに作成した教育関係資料による教育方針・教育構想及び各種取組の周知、各課主催の行事・イベント開催に関する情報及び開催結果、市議会定例会における教育に関する一般質問の答弁概要、「学校教育ナビゲーション」や「YOTSUBAの風」による児童生徒の活躍状況及び学業の成果の周知など、83 件の報告が行われました。

### 《参考》平成 24 年度教育委員会会議審議案件等一覧

開催日	会議区分	案件区分・番号	件名
4 月 25 日	定例会	報告	1 平成 24 年度教育関係資料の作成趣旨及び配付先等について (1)平成 24 年度伊勢崎市教育行政方針 (2)あなたの出番です！ (3)平成 24 年度伊勢崎市の学校教育方針 (4)伊勢崎 2012 教育構想
			2 伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.48)について
			3 「やってみよう！ にほんご かんたん！」について
			4 「国語の達人」について
			5 平成 24 年度四ツ葉学園中等教育学校入学式について
			6 明星電気株式会社との連携研究について
			7 学校給食食材放射性物質の検査体制強化及び検査状況と結果、校内空間放射線量の測定方法と公表について
			8 「こども読書週間」ポスター展の開催について
			9 ブックスタート図書配付数及びアンケートの集計結果について
			10 平成 23 年度はたおり体験学習について
		11 「田島弥平旧宅」のリーフレットの作成について	
		議案	第 23 号 伊勢崎市立学校の長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令の臨時代理の承認について
		第 24 号 平成 23 年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳	

			<p>出補正予算(第6号)の計上と繰越要求に関する臨時代理の承認について</p> <p>第25号 伊勢崎市立小学校、中学校及び特別支援学校管理規則の一部を改正する規則の臨時代理の承認について</p> <p>第26号 伊勢崎市奨学生選考委員会委員の委嘱について</p> <p>第27号 伊勢崎市立北小学校学校運営協議会委員の委嘱について</p> <p>第28号 伊勢崎市文化財調査臨時委員の委嘱について</p> <p>委員協議会 1 教育委員会会議の会議録の公表方法について</p> <p>2 施設整備について</p> <p>3 その他意見交換</p> <p>委員勉強会 1 教育委員会制度と教育委員の役割について</p> <p>2 教育委員会の活性化について</p> <p>3 児童生徒数の推移について</p> <p>4 その他意見交換</p>
5月22日	定例会	報告	<p>1 伊勢崎市学校教育振興事業について</p> <p>2 台湾新北市清傳高級商業学校との交流について</p> <p>3 人形劇・図書館コンサートの開催について</p> <p>4 境図書館「図書館ぎやらりー」オープンについて</p> <p>5 はつらつ健康教室特別編</p> <p>一ウオーキング大会における文化財解説一について</p> <p>議案 第29号 平成23年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書について</p> <p>第30号 平成24年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第1号)の見積りについて</p> <p>第31号 伊勢崎市立学校結核対策委員会委員の委嘱について</p> <p>第32号 伊勢崎市学校給食運営委員会委員の委嘱について</p> <p>第33号 伊勢崎市社会教育委員の委嘱について</p> <p>第34号 伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>第35号 平成24・25年度伊勢崎市スポーツ推進審議会委員の委嘱について</p> <p>委員協議会 1 教育委員の伊勢崎市臨海学校視察について</p> <p>2 その他意見交換</p> <p>委員勉強会 1 教育施設の現状と課題について</p> <p>2 その他意見交換</p>
6月28日	定例会	報告	<p>1 平成24年第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問及び議案質疑の答弁概要について</p>



			2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.49・50)について 平成25年度伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校入学者募集要項について 四ツ葉学園学校説明会の実施について 馬鞍山市第二中学学生訪問団の来校について スプリングフィールド市キカップ高校学生訪問団の来校について 赤石楽舎サマーフェスタの開催について 「少年の主張」伊勢崎市大会の開催について 市民読書会・超大型紙芝居の開催について 夏休み(7月)子ども向け各種事業について 「田島弥平旧宅」の国史跡指定に係わる国文化審議会の答申について
		議案	第36号	伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱について
		委員協議会	第37号	伊勢崎市図書館協議会委員の委嘱について
			1	市長レビューについて
			2	教育委員臨海学校視察の実施概要について
			3	その他意見交換
		委員勉強会	1	読書の街いせさき推進事業について
			2	その他意見交換
7月24日	定例会	報告	1 2 3 4 5	伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.51・52)について アカデミックセミナーの開催について 学校給食費の児童手当からの天引きについて 世界遺産登録推進“応援”事業について 遺跡展「発掘!! 古代の役所」の開催について
		議案	第38号	平成25年度伊勢崎市立幼稚園の定員について
		委員勉強会	第39号	平成25年度使用教科用図書採択について
			1	いじめ問題に係る取組について
			2	田島弥平旧宅の国史跡指定と世界遺産登録の取組について
			3	その他意見交換
8月24日	定例会	報告	1 2 3 4	夏季休業中の児童生徒の活躍状況について 夏休み向け子ども事業の報告について チャレンジウィーク等学校支援事業について 赤堀歴史民俗資料館企画展について
		議案	第40号	平成24年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第2号)の見積りについて
			第41号	平成24年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出補正予算(第2号)の見積りについて

		委員協議会	1 2 3 4	伊勢崎市立伊勢崎養護学校の県立移管について 赤堀中学校の建設について 夏季休業中の生徒指導の状況等について その他意見交換
		施設見学	1	史跡田島弥平旧宅と境島村養蚕農家群
9月27日	定例会	報告	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	平成24年第4回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について 平成24年第4回伊勢崎市議会定例会における議案質疑に対する答弁概要について 中学校総合体育大会結果(個人の部)について 平成24年度上半期スポーツ・文化活動等に功績のあった児童生徒について 伊勢崎勉強塾の実施結果について 伊勢崎市学校教育ナビゲーション(№53、54)について 教育課程特例校申請事務手続きについて 四ツ葉学園中等教育学校グローバルスタディキャンプの実施について 四ツ葉学園中等教育学校アカデミックキャンプの実施について 文学・歴史講座及びヘルマンハーブ演奏と読み聞かせの開催について 「田島弥平旧宅」の国史跡指定について
		委員勉強会	1 2 3 4	幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校へのエアコン整備状況について 赤堀中学校建設に伴う先進事例(高崎市立桜山小学校)について 携帯電話使用の現状と問題点について その他意見交換
10月23日	定例会	報告	1 2 3 4 5 6	四ツ葉学園中等教育学校「平成25年度入学者選抜出願から入学までの手引き」について 家庭教育講座「あなたの出番です!」について 平成24年度伊勢崎市地区別人権学習会の開催について 平成24年度市民教養講座の開催について 読書週間に合わせた各図書館での催しについて 田島弥平旧宅国史跡指定記念事業の実施について
		議案	第42号 第43号	伊勢崎市立学校設置条例等の一部を改正する条例案について 平成24年度末教職員人事運営方針について

			第 44 号	伊勢崎市奨学金条例の一部を改正する条例案について	
11 月 9 日	臨時会	議案	第 45 号	伊勢崎市立赤堀中学校の移転新設計画について	
11 月 27 日	定例会	報告	1	北小学校特認校制の申込結果について	
			2	群馬県小学校陸上教室記録会の結果について	
			3	群馬県中学校新人大会の結果について	
			4	伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.55)について	
			5	YOTSUBAの風「“充実期”のキャリア体験活動」について	
			6	児童手当からの未納給食費の天引き実施結果について	
			7	図書館でほっと暖かいクリスマスイベント	
			8	田島弥平旧宅国史跡指定記念事業の開催結果について	
			議案	第 46 号	平成 24 年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出補正予算(第 3 号)の見積りについて
				第 47 号	平成 24 年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出補正予算(第 3 号)の見積りについて
			委員協議会	1	平成 25 年度教育行政方針の策定に関する基本方針(案)について
				2	平成 24 年度実施の教育委員会所管事務の点検・評価及び公表の基本方針(案)について
				3	グローバル人材育成推進協議会について
				4	赤堀中学校建設への想いアンケート結果報告書と事業スケジュールについて
		5	上毛新聞社との新聞活用教育に関する協定書締結について		
		6	その他意見交換		
12 月 25 日	定例会	報告	1	平成 24 年第 5 回伊勢崎市議会定例会における教育部に関する一般質問の答弁概要について	
			2	平成 25 年度伊勢崎市立幼稚園入園希望者の応募状況について	
			3	平成 24 年度文部科学省等による学校表彰について	
			4	伊勢崎高校、四ツ葉学園中等教育学校芸術鑑賞教室の実施について	
			5	図書館で新春を楽しむ温かいイベントの開催について	
			6	史跡田島弥平旧宅標柱の設置について	
			議案	第 48 号	平成 24 年度伊勢崎市教育委員会所管事務の点検・

		委員協議会	第 49 号 1 2	評価及び公表の基本方針について 伊勢崎市立伊勢崎養護学校校長及び教頭の兼務発令内申に関する臨時代理の承認について 平成 25 年度伊勢崎市教育行政方針の第一次原案に対する意見等の集約について その他意見交換
1 月 25 日	定例会	報告	1 2 3 4 5 6 7 8	平成 24 年度優秀教員表彰の受賞者について 教育課程特例校の指定について 平成 25 年度四ツ葉学園入学志願者状況について 平成 24 年度伊勢崎市公民館合同作品展の開催について いせさき読書まつり 2013 について 赤ちゃんの駅に絵本を配付について 民謡開拓の父「町田佳聲」展示会について 平成 24 年度史跡田島弥平旧宅防火訓練の実施について
		議案	第 1 号 第 2 号 第 3 号	平成 25 年度教育費に係る一般会計歳入歳出当初予算の見積りにについて 平成 25 年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出当初予算の見積りにについて 伊勢崎市人権教育推進委員会条例の一部を改正する条例案について
		委員協議会	1 2 3 4 5	赤堀中学校建設について コミュニティースクールの拡大について 伊勢崎市指定文化財候補物件の継続調査について 平成 25 年度伊勢崎市教育行政方針の第一次原案に対する意見等の集約について その他意見交換
2 月 21 日	定例会	報告	1 2 3	平成 24 年度伊勢崎市学校教育振興事業褒賞対象者について 伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.56～No.58)について 赤堀歴史民俗資料館企画展「探検家・矢島保治郎展」の開催について
		議案	第 4 号 第 5 号	平成 24 年度教育費に係る一般会計歳入歳出補正予算(第 4 号)の見積りの市長への送付に関する臨時代理の承認について 平成 24 年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出補正予算(第 4 号)の見積りの市長への

			第 6 号 第 7 号 第 8 号 第 9 号 第 10 号 第 11 号 第 12 号 委員協議会 1 2	送付に関する臨時代理の承認について 平成 25 年度伊勢崎市教育行政方針について 伊勢崎市グローバル人材育成奨励基金条例案について 伊勢崎市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について 伊勢崎市立学校の長に対する事務委任等に関する規程等の一部を改正する訓令について 伊勢崎市立伊勢崎養護学校スクールバス管理規程を廃止する訓令について 伊勢崎市適正就学指導委員会規則の一部を改正する規則について 伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について 平成 24 年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書(案)に対する意見等の集約について その他意見交換
3 月 6 日	臨時会	委員協議会 議案	1 2 第 13 号	県教育委員会が任命権を有する教職員の任免について その他意見交換 県教育委員会が任命権を有する教職員の任免について
3 月 21 日	定例会	報告 議案	1 2 3 4 5 第 14 号 第 15 号 第 16 号 第 17 号	平成 24 年度伊勢崎市学校教育振興事業褒賞対象者(追加推薦分)について 平成 25 年第 1 回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する一般質問の答弁概要について 平成 25 年第 1 回伊勢崎市議会定例会における教育委員会に関する議案質疑の答弁概要について 伊勢崎市学校教育ナビゲーション(No.59~No.61)について 展示会「写真で見る、ちょっと昔の本町周辺」について 伊勢崎市立伊勢崎養護学校に関する教育財産の廃止について 伊勢崎市特別支援学校児童生徒就学援助費支給条例の一部を改正する条例案について 伊勢崎市社会教育指導員規則の一部を改正する規則について 伊勢崎市人権教育推進委員会規則の一部を改正する規則について

			第 18 号 第 19 号 第 20 号 第 21 号 1 2	伊勢崎市文化財調査委員の委嘱について 伊勢崎市指定重要無形民俗文化財の指定について 平成 24・25 年度 伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱について 市教育委員会が任命権を有する教職員の任免について 市教育委員会が任命権を有する教職員の任免について 平成 24 年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書(案)に対する意見等の集約について
3 月 25 日	臨時会	委員協議会  議案	1 第 22 号 第 23 号 第 24 号	伊勢崎市教育委員会委員長の選挙、委員長職務代行者の指定及び教育長の任命について 伊勢崎市教育委員会委員長の選挙について 伊勢崎市教育委員会委員長職務代行者の指定について 伊勢崎市教育委員会教育長の任命について

## (2) その他の活動（教育長を除く）

教育委員は、教育委員会会議のほか、各種附属機関の会議、学校行事、群馬県市町村教育委員会連絡協議会の会議、文部科学省主催の市町村教育委員研究協議会などにも出席しています。

平成 24 年度については、これらの会議等へ 57 回出席しました。

### 《参考》平成 24 年度教育委員研修・会議等出席状況一覧

	内 容	回数
研修・視察	群馬県市町村教育委員会連絡協議会会議 (5/9・7/12 沼田市:委員長)	2
	関東甲信越静市町村教育委員連合総会・講演会 (5/18 埼玉県川口市:全委員)	1
	伊勢崎市臨海学校視察・長岡市教育委員会表敬訪問 (8/8 新潟県長岡市:全委員)	1
	国史跡田島弥平旧宅視察(8/24 境島村:全委員)	1
	赤堀中学校建設に係る先進学校視察 (10/4 高崎市立桜山小学校:全委員)	1
	文部科学省主催 市町村教育委員会研究協議会 (10/25・26 岩手県盛岡市:全委員)	1
会議	定例校長会議(4・5・7・8・11・1・2月 全委員)	7
	教育改革・いせさき未来会議(6/19・2/8 全委員)	2

	教科用図書採択協議会(7/10 委員長)	1
附属機関 (委員会)	奨学生選考委員会(5/21 全委員)	1
	学校給食運営委員会 (7/13・2/22 委員長・委員長職務代行者)	2
	生涯学習推進協議会(5/24 委員長)	1
	青少年問題協議会(5/29・11/19 委員長)	2
行事等	中学校体育連盟総合体育大会開会式(7/4 全委員)	1
	市民総合体育大会開会式(10/7 全委員)	1
	少年の主張伊勢崎市大会(6/30 全委員)	1
	生涯学習大会(12/15 全委員)	1
	人権について考える集い(1/20 全委員)	1
学校行事	小学校運動会・中学校体育大会(全委員)	27
	中学校卒業式(3/13 全委員)	
	四ツ葉学園・高等学校入学式(4/9 全委員)	2
	高等学校校卒業式(3/1 全委員)	
合 計		57

## Ⅱ 平成 24 年度教育行政方針の概要

### 基本理念

伊勢崎市教育委員会は、人権尊重の精神を基本に、家庭・地域社会への所属感をはぐくみ、郷土を愛する心と国際協調の精神を養い、自ら学び心豊かでたくましい『生きる力』にあふれ、くらしと文化を創造し享受する自立した人づくりを目指して教育行政を進めます。

このため、社会の動向と本市教育の伝統を踏まえ、生涯学習の視点に立った主体的な学習を促し、人間として調和のとれた、創造的で個性を生かした教育の振興を図ります。

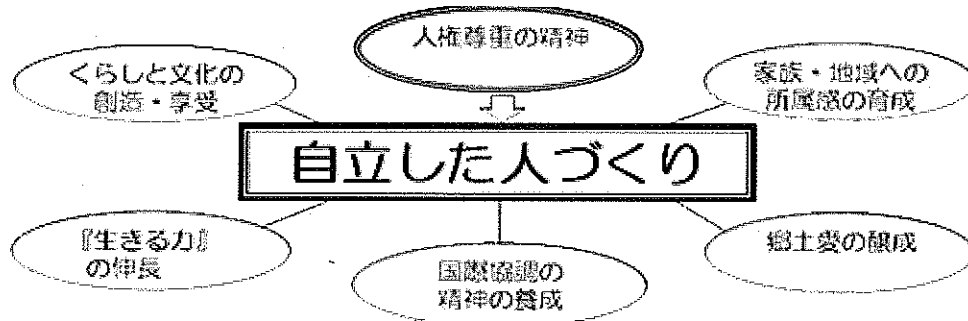
### 基本方針

伊勢崎市教育委員会は、複雑化・多様化する社会の変化がもたらす各種教育課題に適切に対応するため、基本理念の具現化を目指し、諸施策の推進に努めます。

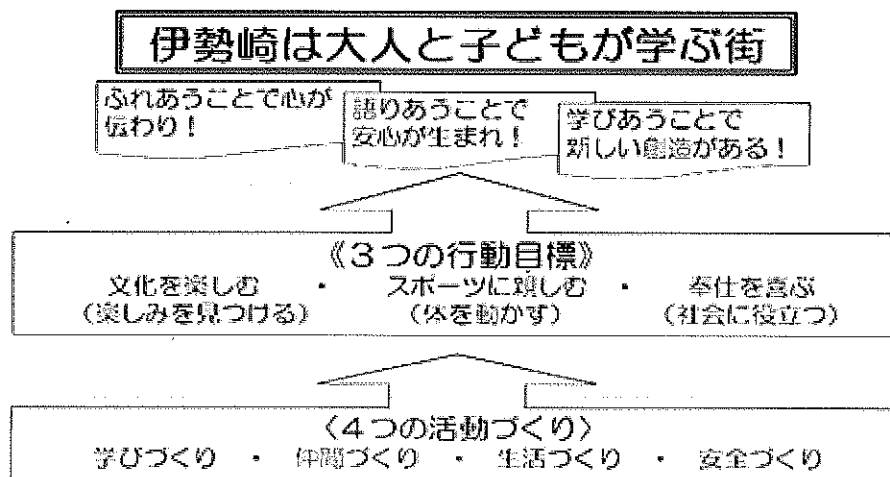
このために、市民参加の学習活動が展開できるよう、家庭・地域社会・学校・関係機関の連携を深め、生涯の各時期に対応した学習の機会の確保、教育条件の整備と学習環境づくりを推進し、『伊勢崎は大人と子どもが学ぶ街』の実現に努めます。

そこで、心の教育を充実し、感性豊かで実践力のある市民の育成に努めるとともに、ゆとりある文化的な生活を実現するため、わたくしたち一人一人が3つの行動目標「文化を楽しむ（楽しみを見つける）・スポーツに親しむ（体を動かす）・奉仕を喜ぶ（社会に役立つ）」を掲げ、その実現を目指して4つの活動づくり「学びづくり・仲間づくり・生活づくり・安全づくり」に取り組みます。

#### 基本理念



#### 基本方針





# 活動づくりの8施策

## 1 子どもの成長に応じた学校教育の充実

- (1)小中9年間の一貫した指導による基礎学力の習得、英語教育の推進、家庭学習の奨励を通して学力の向上を図ります。
- (2)一人一人の個性や特長を生かした将来の夢を実現させるために、人間形成を重視した高校教育の充実に努めます。
- (3)語学研修やキャリア教育など特色ある教育活動を通して、学力の向上や人格の育成を目指した教育を充実させます。

## 2 心豊かな地域社会の形成

- (1)学校と家庭・地域の協働により、子どもの基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上を図ります。
- (2)市民の人権意識の高揚や子どもの健全育成の充実に努めるための多様な事業を通して、家庭や地域の教育力を高め、地域の絆を深め、住みよい街づくりに努めます。

## 3 市民が主役の生涯学習の充実

- (1)自ら学び、学習成果を自分に活かし、自分を地域で活かすために、身近な学びの場を確保し、生涯学習の支援体制を整えます。
- (2)市民の多様な学習ニーズに応えるために、世代間交流、地域課題、まちづくりなどの現代的な課題に対応する教室や講座を開催し、生きがいを推進します。
- (3)子どもたちの体験学習の充実、親子のふれあう機会の拡充を図り、子どもが体験を通して親子の絆を深める環境づくりに努めます。

## 4 読書の街づくりの推進

- (1)地域や家庭、学校に読書活動を普及させ、本がつなぐ仲間づくり、本との出会い、本とのふれあいを通して本に親しむ習慣の定着を図り、読書文化の充実に努めます。
- (2)4つの図書館の特色を活かした活動や連携により、季節や世代に合わせた市民一体型の事業を実施し、本がつなぐ家族づくり・街づくりを推進します。

## 5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

- (1)先人が残した地域の歴史遺産や文化遺産など価値ある文化財を調査、保存し、郷土の歴史や文化を次代に継承します。
- (2)地域の伝統文化や指定文化財等の公開を通して、郷土を愛する心を育みます。

## 6 安心・安全を大切にした健康教育の充実

- (1)生涯を通じて健康で活力ある生活を送るために、学校保健活動の充実や食育の推進を図り、子どもの心と体の健康づくりに努めます。
- (2)安全に生活するための基本的な知識や判断力を育てるために、学校・家庭・地域が一体となって学校安全や交通安全をはじめとした安全教育を推進し、安全の確保に努めます。
- (3)子どもの体力・運動能力等に基づき、年齢に即した体力の向上に取り組みます。

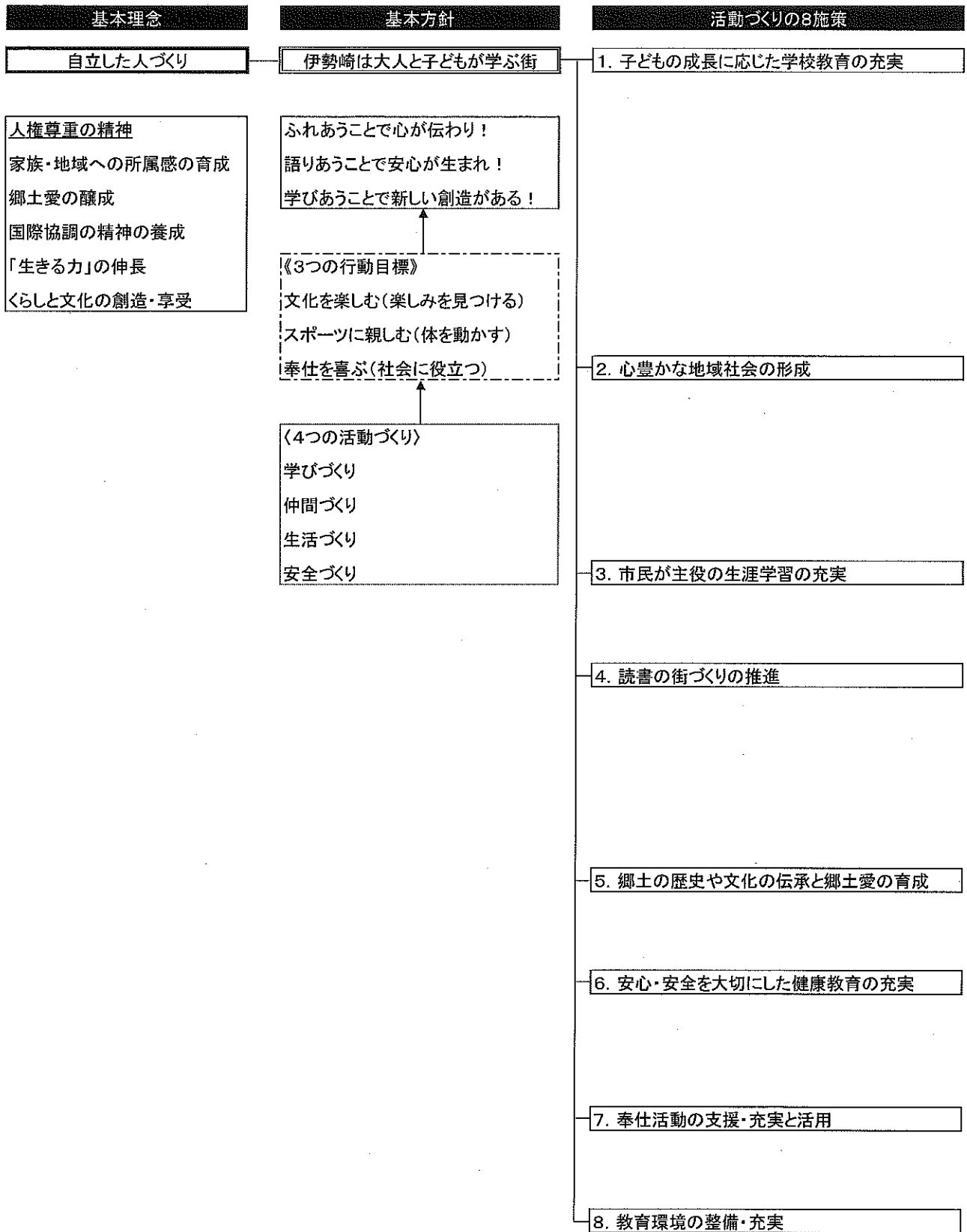
## 7 奉仕活動の支援・充実と活用

- (1)地域や企業・大学等と協働した教育活動を実施し、子どもの夢や希望を育みます。
- (2)地域ボランティアの養成と支援を通して自発的な奉仕活動を促すために、地域の人材の発掘と活用を図り、奉仕を喜び、社会に役立つ活動づくりに努めます。

## 8 教育環境の整備・充実

- (1)快適で安心安全な学習空間を創造するために、教育施設の耐震化をはじめ、エコ改修、バリアフリー化、老朽化への対応、教室不足の改善、余裕教室の有効活用などを推進します。
- (2)空調設備を整備するとともに、室温調整を図るために、環境教育の一環として独自のエコ活動に取り組み、環境変化に対応します。

# 平成24年度伊勢崎市教育行政方針体系図



基本目標

具体的な事業方針

学力パワーアッププランで「学力」を向上させます！

- ①基礎学力の習得
- ②英語コミュニケーション能力の育成
- ③家庭学習の習慣化

豊かな人間形成を重視した教育を実践します！

- ①進路実現を可能にする教育課程の充実
- ②きめ細かな学習指導の充実
- ③国際交流事業の充実

健康で高き知性と道徳性を身につけた教養人を育てます！

- ①伊勢崎から世界を目指す人材育成
- ②夢と希望をを実現できる力の育成
- ③企業・大学と連携したキャリア教育の推進

「愛」燦々プランで絆を深め「豊かな心」を育てます！

- ①生活・学習習慣の確立
- ②きれいな学校づくりの推進
- ③地域・家庭の絆の強化
- ④いじめ・不登校の未然防止

地域における望ましい人間関係の形成に努めます！

- ①人権教育・啓発事業の充実
- ②子どもの健全育成と家庭教育の充実

生きがいを持ち学べる環境づくりを目指します！

- ①市民が主役の学習活動の創造
- ②いつでも誰もが学べる学習機会の拡充
- ③子どもが体験を通して学ぶ機会の提供

地域や家庭、学校に読書活動を普及します！

- ①本がつながり仲間づくりの推進
- ②本との出会いの拡充
- ③本とのふれあいの創出

家族がふれあい、豊かな心を育む街づくりを推進します！

- ①本がつながり家族の絆づくりと読書環境の整備
- ②親子読書の推奨・推進
- ③市民一体型の図書館活動

かけがえのない文化財の保存・活用と継承に努めます！

- ①文化財の調査
- ②文化財の保存
- ③文化財の活用・継承

子どもたちの健康をつくり、安全を守ります！

- ①学校保健の推進
- ②食育の推進と学校給食の安全性の確保
- ③学校安全の推進
- ④体力の向上

地域の学校いきいきプランで教育活動を充実させます！

- ①スマイルサポーターの活用

学んだ成果を活かす意識の醸成を図ります！

- ①地域における奉仕活動への支援
- ②地域の人材活用の推進

快適な学習空間を創造します！

- ①環境変化への対応
- ②学習空間の確保
- ③安心安全な学校環境の整備



### Ⅲ 事業点検・評価及び学識経験者の意見

#### 1 子どもの成長に応じた学校教育の充実

##### ◆学力パワーアッププランで「学力」を向上させます！◆（小中学校教育）

ステップアップ作戦やベイシック作戦の実施、小中一貫した英語教育の推進、やってよかった家庭学習の充実等により、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子ども」の育成を図りました。

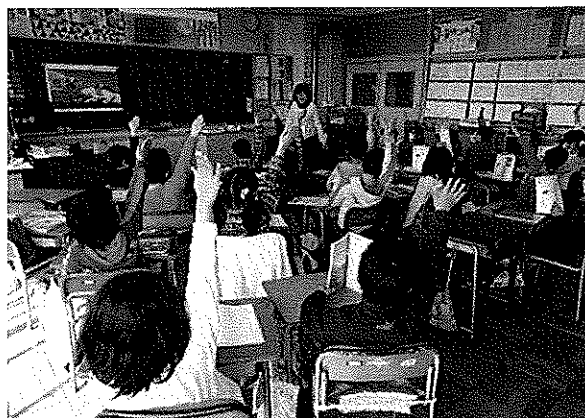
##### (1) 基礎学力の習得

###### ア 小中9年間の責任一貫指導の推進

「パワーアップタイム」において、伊勢崎市学力向上プリント等を活用し、継続徹底して取り組むことにより各学年で身に付けなければならない基礎的・基本的事項を習得できました。

###### イ ステップアップ作戦の実施

小学校の各学年において、「読む」「聞く」「考える」「書く」「話す」の場面を意図的に設定することや繰り返し学習を習慣化することにより、国語、算数を中核とした基礎学力が定着しました。



集中して取り組む子どもたち

###### ウ ベイシック作戦の実施

中学校において、言語力、計算力、ライティング力に重点を置き、問題提示や発問を工夫することや考える授業を実践すること、家庭学習を充実させることなどにより、基礎的・基本的事項を習得できました。

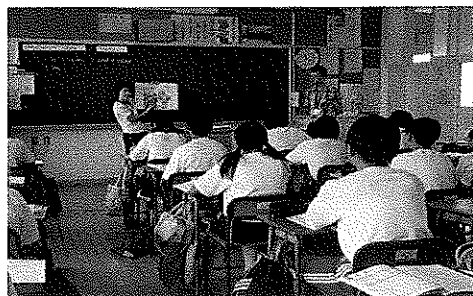
##### 【今後の課題・取り組み】

小中9年間の連続性を意識して取り組んできたこれまでの一貫教育の蓄積を踏まえ、今年度の取組を継続徹底して実践していきます。特に、子どもが具体的に取り組める教育活動をきちんと示し、目標を持たせることにより、意欲的に授業に取り組めるようにします。

##### (2) 英語コミュニケーション能力の育成

###### ア 伊勢崎独自のシステムで授業の充実

英語力向上プログラムによる、ALTや英語活動支援助手を有効活用した小中9年間の一貫した指導により、児童生徒の英語コミュニケーション力が伸びています。



ALTとのチームティーチング

## イ 各学年の到達目標の設定及び適切な評価

各学年の到達目標を設定し、小学校英語チャレンジや中学校スピーキングテスト等で適切に評価するとともに、達成感や成就感を実感させることで、意欲的に取り組む子どもが増えています。

### 【今後の課題・取り組み】

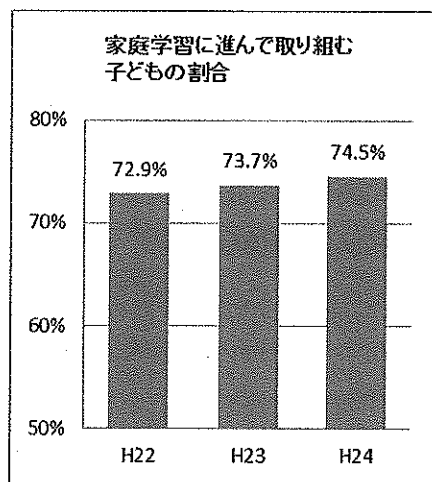
今年度、教育課程特例校「英語科」として先導的に実施した3小学校の成果と実績を生かし、来年度は市内全小学校での「英語科」を推進し、小中9年間の英語教育を充実させます。

また、教育研究所や各学校等で構築した実績を包括的に活用し、子どもの英語コミュニケーション能力の向上を図り、社会のグローバル化に役立てます。

## (3) 家庭学習の習慣化

### ア 家庭学習の習慣化

子ども一人一人の家庭学習の取組状況を把握し、頑張りを認め励ますことにより、家庭学習の習慣が身に付いてきています。



### イ やってよかった家庭学習の改善と充実

家庭学習の意義や目的を示し、宿題の内容を工夫したり、コンテスト等で成果を実感させたりすることで、意欲的に家庭学習に取り組む子どもが増加しています。

### 【今後の課題・取り組み】

家庭学習への意欲に個人差が見られるので、個別指導や家庭との連携を一層充実させ、全ての子どもの家庭学習への取組の向上に努めます。

## ◆豊かな人間形成を重視した教育を実践します！◆（高等学校教育）

生徒一人ひとりの個性を生かした進路実現を目指します。そのために教育課程を工夫し、きめ細やかな学習指導を実施しました。また、国際化に対応するため、国際理解を深める体験型教育活動も実施しました。

### (1) 進路実現を可能にする教育課程の充実

#### ア 進路に応じた履修コースの設置（2年次）

進路希望に対してきめ細かく対応するため、2年次から文系・理系・スポーツ系の3コースを設定し、それぞれのコースに応じて選択科目を履修できるようにしています。

## イ 進路に役立つ各種検定の上級取得

英語検定、漢字検定を実施しました。今年度の合格状況は、次のとおりです。

＜英語検定＞ 3級：15人、準2級：20人、2級：3人

＜漢字検定＞ 3級：29人、準2級：17人、2級：5人

### 【今後の課題・取り組み】

進路実現に向けて、人間関係能力・課題解決能力等の育成を図るためキャリア教育をさらに充実させます。また、各種検定についても、上級取得に向けて支援を継続します。

## (2) きめ細かな学習指導の充実

### ア 学習指導方法の充実

数学における習熟度別授業、地歴・公民や理科における選択希望に応じた少人数授業を実施し、生徒の実態に応じたきめ細かな指導を実施しました。アンケート調査の結果、これらの取組について95%の生徒が満足していると回答しました。

### イ 教育課程外時間の有効活用

毎朝10分間の朝学習を実施し、基礎学力の定着を図りました。また、長期休業中には課外授業や学習合宿を実施し応用力の定着を図りました。

成績不振の生徒については、長期休業中に個別に学習計画を立て、基本事項が定着するよう丁寧な指導を実施しました。

### 【今後の課題・取り組み】

朝学習は学習習慣の確立や基本事項の定着のみならず、遅刻防止等の基本的な生活習慣の確立にも役立っているため、朝学習の意義を生徒・保護者に伝え、今後も学習内容・方法の改善を図ります。

## (3) 国際交流事業の充実

### ア 中国安徽省馬鞍山市第二中学との交流派遣

6月には、馬鞍山市第二中学の職員・生徒15人が来校し、歓迎会等による両校の交流を行いました。発表や説明等を通して、コミュニケーションの重要性や他国の文化を理解する必要性を実感することができました。



馬鞍山市第二中学歓迎会

### イ 海外修学旅行の実施（シンガポール・マレーシア）

11月に2年生がシンガポールへの修学旅行を4泊5日で実施しました。国際理解のための事前学習、異文化体験、現地大学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上、国際感覚やマナー

の習得を図ることができました。

### 【今後の課題・取り組み】

馬鞍山市第二中学との交流事業のほか、他国の高校生との交流機会を増やすなど、実際に生徒が他国の生徒と触れ合う場面をできるだけ多く設定するなどの工夫を行います。

## ◆健康で高き知性と道徳性を身につけた教養人を育てます！◆（中等教育学校教育）

未来・世界にはばたく、高き知性と道徳性を身につけた教養人の育成を目指した、伊勢崎市独自の中高一貫教育を推進しました。

### (1) 伊勢崎から世界を目指す人材育成

#### ア 海外語学研修の実施

本校生徒 30 人が市内中学生とともに、8 月 3 日から 16 日までの 2 週間米国ミズーリ州スプリングフィールド市を訪問し英語の語学研修を実施しました。

E L I での英語学習の評価では、30 人全員が 5 段階の 3 以上の修得を認定されました。

生きた英語の学習と、市民の皆さんとの心かよう交流活動が展開され、生徒にとってまたとない貴重な研修を行うことができました。



スプリングフィールド市長との記念写真

#### イ 国際感覚の養成と異文化交流の実施

中国安徽省馬鞍山市第二中学及び台湾国新北市清傳高級商業学校の生徒が来校しました。

3 年生の各クラスが、思い思いに日本の歌や、書道、遊び等を紹介し交流を図りました。日本の文化に興味をもっている様子がよくわかりました。

また、グローバル総合では、第 2 学年で特別講師を招き、韓国、フィリピン、台湾の生活や文化について学びました。日本のよさを再認識するとともに、発信すること相手を受け入れることの大切さを学びました。



台湾国新北市清傳高級商業学校歓迎会

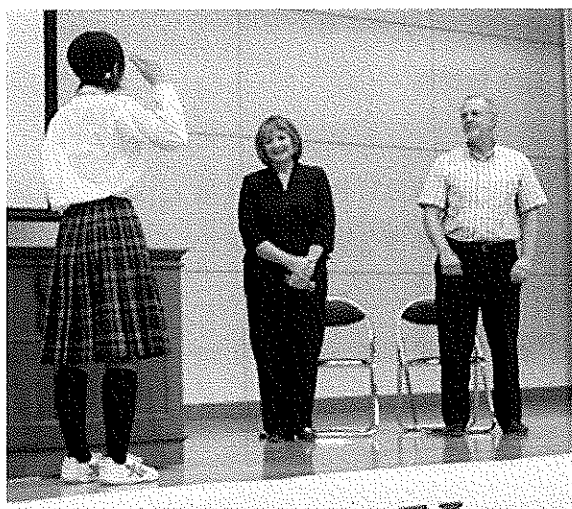


## ウ 海外の大学への進学に向けた具体的な方法の研究

米国ミズーリ州立大学への進学及び留学にかかわる支援の改正について検討をしました。

伊勢崎市民及び伊勢崎市内の高等学校を卒業した人が、ミズーリ州立大学附属語学学校に留学する場合の費用に関して減免することを確認しました。

ミズーリ州立大学附属語学学校のジェーン校長による海外大学への進学等についての講演会を実施しました。生徒及び保護者に対して米国ミズーリ州立大学への進学及び留学に係る優遇措置等の周知を図るとともに、ミズーリ州立大学学長は、五十嵐市長と協定の改定を行いました。



ジェーン校長先生来校

## エ グローバルスタディーズキャンプの実施

パース大学における外国人講師等による英語研修を実施しました。

日本紛争支援センターの事務局長瀬谷ルミ子さんや、お茶の水大学学長特別補佐坪田秀子さんなど、世界で活躍している講師の生の声を聞き、生徒の視野を広げることができました。

また、会話中心のオールイングリッシュの授業等により、次年度のグローバルスタディーズキャンプの事前学習ができました。



楽しい英語の授業（パース大学）

### 【今後の課題・取り組み】

5月下旬から10日間に及ぶ米国スプリングフィールドにおけるグローバルリーダーズ研修が実施されるので、ミズーリ州立大学や姉妹都市委員会等と連携をとり、グローバル人材の育成を目指して充実した活動になるように努めます。

## (2) 夢と希望を実現できる力の育成

### ア 確かな学力の育成

英語や数学における少人数学習を実施しました。ひとつの成果の表れとして各種検定結果は次のとおりでした。

漢字検定の合格率 1年： 96%、2年： 81%、3年： 63%、4年： 18%

英語検定の合格率 1年： 90%、2年： 83%、3年： 57%、4年： 15%

数学検定の合格率 1年： 96%、2年： 89%、3年： 79%、4年： 32%

4年生は、2級（高校卒業程度）、準2級（高校2学年終了程度）の受検者がほとんどであり合格率は低いですが、一人ひとりの生徒が自分の目標をもって努力することができました。

朝・放課後・土曜スクールなどの補充・発展的学習（SUP）を実施しました。

特に、土曜SUPは、毎月第1、第3土曜日に実施し各種検定対策など、通常の授業でできない学習内容を行い、上記のように大きな成果を得ることができました。

また、3年次アチーブメントテストを実施し、中学校3年間で学ぶべき内容の総復習を行い、後期課程に進むための力の育成を図りました。



真剣に学習（放課後SUP）

## イ 豊かな人間性の育成

「四ツ葉生らしさを考える会」の実施など生徒自らが自分の言動を考える生徒指導を徹底しました。

今年度の「四ツ葉生らしさを考える会」のテーマは、「基礎期の生活と充実期の生活」であり、四ツ葉学園を自分たちで築いていく意識や愛校心を育むことができました。

「サポートリーダー制」の活用では、第一学年の赤城山の宿泊オリエンテーションや夏季休業中の宿泊SUPで2年生が1年生に学習や生活についてサポートしたり、大学の進路学習で4年生が3年生に事前指導をしたりするなど、先輩が後輩をサポートする活動が充実しました。



ありがとうキャンペーン

さらに、「ありがとうキャンペーン」や四ツ葉杯など、学校全体で生徒会行事を実施し生徒の自主性の育成を図りました。

### 【今後の課題・取り組み】

学習面では、学ぶ目的、学ぶ楽しさを実感できる授業を推進するとともに、生徒の興味・関心に応じた教科選択への支援を図っていきます。

生活面では、中等1年生から中等5年生までの幅広い年齢層の生徒が在籍している利点を生かした活動を一層充実させていきます。

### (3) 企業・大学と連携したキャリア教育の推進

#### ア 環境学習やグローバル化を視野に入れた体験学習の実施

サンデン（株）と連携し第1学年では環境学習「森を知ろう」の総合的学習、早稲田大学本庄リサーチパークと連携し第2、3学年では環境に優しい「スマートタウン」などについての学習を実施し、自然や環境保全などについての理解が進みました。

また、2年生の「多文化理解」領域の生徒は、早稲田大学のボランティア団体に所属する学生と2回の交流会を持ち、国際交流について学びました。さらに、真の国際人になるためには、

自国の文化や歴史をしっかりと理解していることが大切と考え、第1、2学年で茶華道の学習に加え、今年度から第3学年で伊勢崎銘仙について学ぶ機会を拡充させました。

#### イ アカデミックキャンプの実施

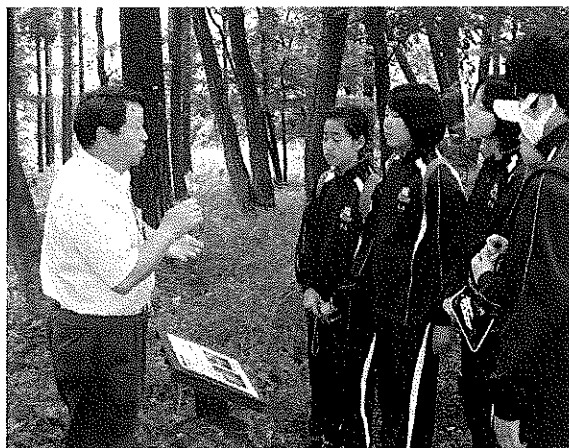
早稲田大学との連携による、2泊3日の「アカデミックキャンプ」を実施し、最先端の知識や技能に触れる活動を実施しました。

「環境」「多文化理解」「ものづくり」「伝統文化」の4領域から探究学習を行い、生徒一人ひとりが自分のテーマを追究し課題解決力を高めました。また、専門性の高い講師の授業や施設環境は、生徒の知的好奇心も高め、学習意欲を喚起することにつながったと考えています。

#### ウ キャリアディスカバリーの実施

日本を代表する企業や大学に出向き、大学や職業について学習するキャリア体験活動を実施しました。

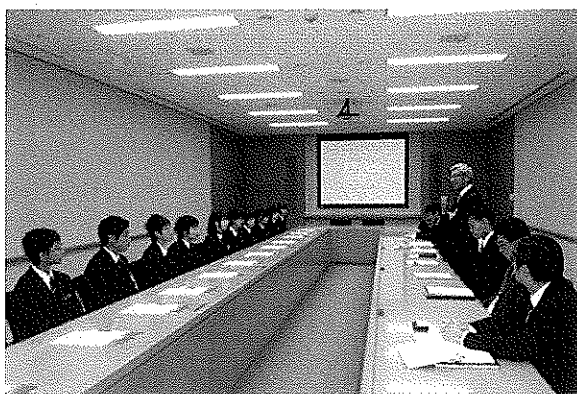
3年生で行うキャリアディスカバリーは、首都圏の大学や企業への訪問を教師が計画を作成し実施しました。一方、大学突撃取材は、生徒自らが計画を立て大学を訪問しました。生徒の自主性を育み、生の大学の姿を把握する活動として、新聞にも紹介されました。



サンデンフォレストの環境学習



早稲田大学理工学部見学



キャリアディスカバリーでの企業訪問

### 【今後の課題・取り組み】

開校以来4年が経ち、基礎期（1・2年）、充実期（3・4年）における教育課程が完成し、今後は、この教育課程を実施しながら工夫改善したよりよいものを再編成していくよう努めます。また、伊勢崎市立の学校として、地元の企業や大学との連携を一層充実させていくとともに、ロータリークラブや青年会議所等の市全域に及ぶ団体との連携を模索し四ツ葉学園の特色に加えていきます。

発展期（5・6年）については、次年度から教育課程が実施されますが、基礎期・充実期の学びを発展させ、「生徒の夢や希望を実現するために」というコンセプトで、一人ひとりに興味・関心や進路希望に応じた学習活動を充実させていきます。

#### 学識経験者の意見

- ・学力向上に力を入れてきていることがよく分かりますが、「定着しました」「習得できました」等の総括がやや抽象的な表現になっているので、その達成度が具体的にはどのような程度・内容なのかが少し分かりにくい面があるように思われます。
- ・英語コミュニケーション能力の育成については、教育課程特別校としての先導的实施を行い、これは全国的にも高い評価を得ていますから、さらに充実を図っていかれるよう期待します。
- ・家庭学習の習慣化に関しては、平成23年度に目標時間を設定して取組の定着を図っていましたが、平成24年度はそれと異なる尺度で評価しているため、継続性という観点からは少し問題がありそうです。
- ・高等学校教育における国際交流は今後も一層の充実を図って下さい。
- ・中等教育学校教育の充実ぶりは高く評価できます。発展期における教育課程の実施に向け、基礎期・充実期における実績を踏まえ、努力を傾注して、然るべく一期生を送り出すことができるものとなるよう期待します。

## 2 心豊かな地域社会の形成

### ◆「愛」燦々プランで絆を深め「豊かな心」を育てます！◆

「幼小中一貫生活・学習 13 のルール」や「早寝・早起き・朝ごはん」等を視点にする、家庭と地域との協働活動により基本的な生活習慣や規範意識の育成を図りました。

また、5S「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」を視点にした「きれいな学校づくり」等の時間により奉仕の心や思いやりの心を醸成するなど、子どもの豊かな心の育成を図りました。

#### (1) 生活・学習習慣の確立

##### ア 小中一貫生活・学習ルールの徹底

すべての学校において全員がルールを守ることを目標に実践した結果、「学校のきまりを守っている」と答えている児童生徒が小中学校ともに90%を超えるなど、規範意識を育てました。

子どもたちにあいさつやきまりを守る心地よさを気付かせ、生活・学習習慣を確立しました。

##### イ じっくり話そう会議の充実

子ども同士や子どもと教師の絆づくりを通して、学校・学級経営の充実を図りました。

保護者、教師、地域の方たちが教育課題について話し合う場を設け、学校運営に役立てました。

「自分のことが好き」と感じている児童生徒は、小学校で71%、中学校で43%と過年度に比べて上昇し、自己肯定感を高めることができました。

#### 【今後の課題・取り組み】

中学校区を一つの単位として小中学校で連携して全児童生徒が生活・学習のルールを守ることを共通の目標として実践し、重点を絞り、意図的・計画的・継続的に、具体的な取組を行います。

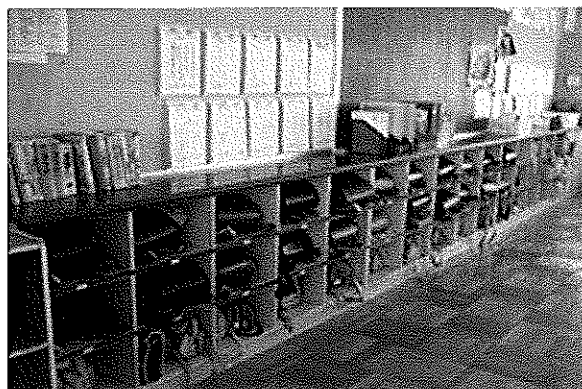
家庭や関係機関との連携を更に強化し、児童生徒の規範意識と自己肯定感を高めていきます。特に、小学校の低・中学年の指導を充実させ、意図的・計画的に徹底して行います。

#### (2) きれいな学校づくりの推進

##### ア 身の回りの整理・整頓

- ・「靴やスリッパをそろえる」
- ・「ごみを拾う」
- ・「ロッカーや机の中など自分の持ち物を整理整頓する」
- ・「学習しやすいようにノートや筆箱の置き方を工夫する」

等の行為が身に付き、児童生徒が気持ちよく学校生活を送れるようになりました。



整理された学習環境

## イ きれいな心づくり

朝読書や授業、部活動などに集中して取り組むなど、児童生徒が落ち着いて学校生活を送るとともに、活気あふれる姿が見られるようになりました。

気持ちのこもったあいさつや言葉づかいで子ども同士、子どもと教師が心を通い合っている様子が見受けられるようになりました。

### 【今後の課題・取り組み】

今後も5S活動を共通実践し、子どもたち自身が主体的に学習環境を整えたり、よりよい人間関係をつくったりするなど、充実した学校生活を送れるよう指導していきます。

また、「トイレピカピカプロジェクト」を推進し、施設を大切にしようとする気持ちや相手を思いやる気持ちを育てます。

## (3) 地域・家庭の絆の強化

### ア 地域の絆づくり

日頃から登下校時に地域の人々に対して積極的にあいさつを行うとともに、地域のクリーン作戦に中学校区ごとに参加するなど、地域とのつながりを深める活動を行いました。

地域への愛着心やモラル意識を高めることにより、地域との絆を深めることができました。

### イ 早寝・早起き・朝ごはん、いせさき家族で「いただきます」の日の推進

「朝食を毎日食べている」と答えた児童生徒は、小学校で96%、中学校で92%となり、生活習慣が確立してきています。

「生まれてから大事に育てられた」と答えた児童生徒は、小学校で95%、中学校で94%となり、家族の絆を深めることができました。

### ウ 携帯電話3つの基本ルールの徹底

有害サイト見守り隊等と連携し、リーフレットの配布や講演会等を通して、携帯電話使用の危険性と対策についての理解を深めることができました。

小学校での講演会後のアンケートでは、68%の保護者が「携帯電話を中学卒業まで持たせたくない」と答えました。また、100%の保護者が「携帯電話を使用する場合には、親子でルールを決める。」と答えるなど、基本ルールの理解を深めることができました。

### 【今後の課題・取り組み】

学校、家庭、地域それぞれの役割を明確にし、学校から、保護者や地域社会へ広く啓発を図りながら、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を展開し、家庭や地域との絆を強化します。

## (4) いじめ・不登校の未然防止

### ア 生徒指導体制の充実

いじめ対策については、学級担任等がスクールカウンセラーや学習生活相談員等と児童生徒の実態や情報を共有しながら指導にあたったことで、児童生徒の変化を見逃さず、早期解決につながりました。

不登校対策については、スクールカウンセラーが、専門性を生かして保護者との面談を行ったり、学級担任等に児童生徒との関わり方について具体的な助言を行ったりすることで、再登校や別室登校ができるようになった児童生徒が増加しました。

## イ 適応指導教室の活用推進

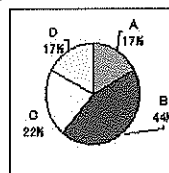
個々の実態や目標に応じて学習に取り組めるように支援したり、楽しく活動することに重点をおき、スポーツを通したコミュニケーションに取り組んだりしたことで、登校回数が増えるとともに、自己肯定感も高まりました。

児童生徒の変容のアンケート結果

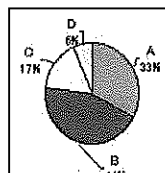
【質問】 この教室に来るようになってあなた自身がどの程度変わったと思いますか？

【時期】 1月下旬 【人数】 17名

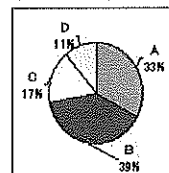
【回答】 A:とてもそう思う B:少しそう思う C:そう思わない D:前からそうであった



不安がなく安定した気持ちでいられるようになった



生活のリズムが整えられるようになった



勉強や将来の進路について考えるようになった

## ウ サポートケース会議の活用推進

アドバイザーとして参加した心療内科医師、臨床心理士からの助言を、担任や保護者が共有化したことで、効果的な指導につながり、児童生徒の生活が規則正しくなり、学習や行事に意欲的に取り組むようになったりするなどの変容が見られました。

### 【今後の課題・取り組み】

今後も、担任や学校だけで抱え込むことなく、スクールカウンセラーやサポートケース会議のアドバイザー等からの助言を生かした指導・援助や適応指導教室等の関係機関との連携を強化して、いじめ・不登校の未然防止・早期解決を図ります。

## ◆地域における望ましい人間関係の形成に努めます！◆

子どもの健全育成を支援するとともに、市民一人一人の地域における望ましい人間関係の形成を目指し、「地区別人権学習会」や集会所を活用しての「人権問題学習会」や子どもたちを対象にした「夏休みビデオシアター」等の人権啓発事業を展開しました。

### (1) 人権教育・啓発事業の充実

#### ア 人権問題学習講座等の開催

市民一般を対象にした人権啓発事業として市内6地区の公民館で、人権啓発ビデオ「この空の下で」の視聴等と意見交換を行う地区別人権学習会を実施し、472人が参加、人権問題について学ぶとともに人権意識の高揚を図りました。

市内の6集会所で人権ビデオ学習会、人権問題学習講座を計12回実施し、延べ304人が参加、人権啓発ビデオの視聴や講座をとおして人権問題について考えま



夏休み親子ビデオシアター

した。

夏休みには子どもとその保護者を対象に「夏休み親子ビデオシアター」を6集会所で開催、今年度から体験活動も取り入れ、宿題の相談等の学習会、人権啓発ビデオを視聴し、100人が参加、親子で人権について学びました。

地域住民が交流し、人権のまちづくりの推進を図るための6集会所における「民踊」、「歌声」、「書道」などの交流教室においても、12,264人の参加者があり、交流を深めました。

## イ 人権啓発標語・ポスターの募集

小学校、中学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童生徒から人権啓発標語と人権啓発ポスターの募集を行うことで、児童生徒の人権に対する関心や理解を深めました。応募数は、人権啓発標語が19,292人、人権啓発ポスターが1,078人でした。

その中から、代表作品を選び、12月の人権週間に合わせて市役所ロビーに展示したり、文化会館で行われた「人権啓発フェスティバル in いせさ



小中学校人権啓発ポスター優秀作品展

き」、「人権について考える集い」等に展示をしたりして、市民の人権意識の高揚に寄与しました。

## ウ 人権啓発カレンダーの作成・配布

人権啓発標語・ポスター優秀作品を掲載した人権啓発カレンダーを作成、市内全校児童等へ配布し、市民の人権に対する関心や理解を深めました。

### 【今後の課題・取り組み】

地区別人権学習会では、人権が尊重される地域社会の実現を目指し、同和問題をはじめ、基本的な人権に関わる問題についての偏見や差別意識の解消を図り、人権に対する正しい知識を学習します。

また、地域の行政役員や各種団体役員のリーダー養成的な研修を企画し、内容はもとより事業の周知方法等も検討していきます。

集会所事業では、今後も交流教室を通して、人と人のふれあいの中から偏見や差別の解消を目指します。

## (2) 子どもの健全育成と家庭教育の充実

### ア 「少年の主張」伊勢崎市大会の開催

「少年の主張大会」では、中学生が日頃感じていることや考えていることを発表し、社会の一員としての自覚を高めるとともに、少年に対する市民の理解や認識を深め、青少年の健全育成を図ることができました。

この大会には、各学校の校内予選で選ばれた代表者12人が中学生らしい視点で、今考えていることや伝えたい自分の思いを立派に発表しました。



377人の参加があり、観覧者からは「みなさん、それぞれのキーワードで胸に響くメッセージでした。」など、高い評価をいただきました。

また、あずま中学校吹奏楽部によるミニコンサートも迫力があり、みんなの気持ちがひとつになった素晴らしい演奏と好評でした。



「少年の主張」伊勢崎市大会

## イ 放課後子ども教室の推進

放課後子ども教室は、境剛志公民館で境剛志小学校地区の子どもたちを対象に開催しました。

東京福祉大学の学生や地域の人々の協力を得て、夏休み期間中の子どもたちの安心安全な居場所づくりとして「自主学习」、「自然体験学習」、「工作教室」など開催し、8日間で、延べ135人の子どもたちが参加しました。

北小学校では北小学校赤石楽舎において週1回程度、PTAの協力を得て、放課後子ども教室を



放課後子ども教室

開催しました。読み聞かせや工作などを実施し、延べ1,118人の子どもたちが参加しました。

両教室とも、参加した子どもたちからは、各活動において楽しかったと答えるなど好評でした。

## ウ PTA家庭教育・人権教育事業の推進

家庭教育における中心的役割を担うPTA会員を対象に、正しい人権問題の理解と認識を深めていくことにより、家庭における人権教育の充実を図るため、幼稚園、小、中、中等教育、特別支援学校の各PTAに家庭教育推進事業を委託し、子どもの人権や命の大切さ、思春期の子に対する親のあり方などを学ぶ講演会や研修会等を延べ35回開催しました。

市PTA連合会、市教育振興会との共催により、家庭教育講演会として、群馬大学大学院教育学研究科の矢島正教授が「あなたの『教育力』を拝借します～学校を支える地域の力～」と題した講演会を開催し、保護者等197人が参加しました。

### 【今後の課題・取り組み】

家庭教育において今後も引き続き、市PTA連合会や各校PTAと連携を図りつつ、家庭教育・人権教育を推進していきます。

### 学識経験者の意見

・「じっくり話そう会議」が有効に機能していることが窺われますが、一方で、「自分のことが好き」

と感じている中学生が半数に満たないのは、この年齢の子どもの発達段階の特性を考慮に入れても、若干気になります。この会議を続けていく中で、この点を今後見極めていく必要があります。

- ・市内には外国籍の人たちが少なくないと思われませんが、人権教育との関連でこれらの人たちをどのように支えていくかの記述が見当たらないのが少々気になります。
- ・赤石楽舎での活動が活発な様子が窺われますが、その利活用をさらに具体的に記述した方がよいように思われます。

### 3 市民が主役の生涯学習の充実

#### ◆生きがいを持ち学べる環境づくりを目指します！◆

地域での仲間と交流を図りながら学ぶ楽しさ、学んだ成果を発表する喜びを共に分かち合う場の充実を図りました。

#### (1) 市民が主役の学習活動の創造

##### ア 生涯学習支援ボランティアまなびい先生事業の充実

まなびい先生事業の周知を図るため、生涯学習推進員の研修会で講師として講座を開催したり、パンフレットを配布しました。

また、まなびい先生自主企画事業として、「木目込み人形」「頭の体操」外9講座を開催し、延べ30回、約150人の参加がありました。



まなびい先生事業「遊びの部屋」

##### イ 1行政区1楽習の推進

生涯学習推進員はもとより、区長、民生委員に「出前講座」や「まなびい先生」事業の活用パンフレットを配布し事業の周知を図り、情報提供を行いました。

その結果、「出前講座」75件、受講者2,541人、「まなびい先生」40件、受講者1,270人の活用がありました。

##### ウ 生涯学習大会の拡充

生涯学習推進員連絡協議会役員が中心になり、手づくりで実施しました。

今回は市内各地区で生涯学習活動をしている17団体とまなびい先生13団体合計370人が成果発表を行いました。

また、まなびい先生の実演展示もあり相互の交流を図りました。



第8回伊勢崎市生涯学習大会

#### 【今後の課題・取り組み】

地域での住民交流が疎遠になりがちなため、各行政区では地域住民の交流機会をいかに充実するかが課題となっています。その課題解決のため、生涯学習事業の積極的な取り組みの啓発を行っていき

ます。

## (2) いつでも誰もが学べる学習機会の拡充

### ア 公民館等での学習機会の充実

#### (ア) 地域の特性を生かした人と人との繋がりを重視した学習講座

地域の自然環境、地域の財産や繋がりを活かした事業として、伊勢崎市の特産品である下植木ネギに関する講演、下植木ネギを扱った料理教室の開催(1回、参加者20人)、地域の八木節保存会による子ども八木節教室(9回、参加者267人)、コスモスマつり(1回、参加者1,200人)、ふるさとの味料理教室(10回、参加者延べ198人)などを開催しました。

#### (イ) 父親の子育てを促進する親子参加型の家庭教育講座

父親・母親と子どもが触れ合う機会をつくり、親子のふれあいや絆を深めることを目的とした、親子料理教室(1回、参加者31人)、里山体験・ほたる鑑賞会(1回、参加者45人)、親子体操教室(1回、参加者60人)、親子で遊ぶフットボール(1回、参加者172人)などを開催しました。



あずま公民館「男性の料理教室」

#### (ウ) 男性の積極的な参加を促せる教室・講座

男性の公民館事業への積極的な参加を促すとともに、男性利用者の増加を図る目的で、男性の料理教室(10回、参加者173人)、そば打ち・手打ちうどん教室(3回、参加者61人)、男性限定のIT教室(8回、参加者54人)などを開催しました。

#### (エ) 読書の街いせさきを推進する本に親しむ講座

絵本などを活用し、親子の絆を深めることや、交流の場として、親子でぴよんぴよん(68回、参加者1,751人)、手作り絵本教室(3回、参加者40人)、読み聞かせ教室(1回、参加者36人)、「子育てセミナー、読書の街いせさき推進事業」(1回、参加者10人)、「ねえ、おはなし聞かせて(ゆかいな読み聞かせ)」(2回、参加者41人)などを開催しました。



あずま公民館「読み聞かせ教室」

#### (オ) サークル活動の成果発表等の文化祭や作品展等開催への支援

サークル活動の成果発表の機会の創出として、各地区公民館において文化祭や作品展を実施し、サークル活動の紹介や作品出展による成果の発表等の支援を行いました。(参加者数13,507人)

### 【今後の課題・取り組み】

公民館事業への参加者については、公民館での学習機会の充実において、重点に置いた事業を実施し全体の参加者は増えてきていますが、まだまだ男性や若年層の方たちの参加が少ない傾向にあります。

今後も引き続き、男性の積極的な参加や若年層の方の参加を促せる事業を実施していくとともに、地域の特性を生かした事業の拡充にも力を入れ利用者の増加を図っていきます。

### (3) 子どもが体験を通して学ぶ機会の提供

#### ア まゆドーム等での子どもへの学習機会の提供

自然や環境への興味を促進する親子ふれあい事業については、ネイチャーゲームをはじめ、草木染め、エコキャンドル作り、ザリガニ釣り大会、七夕のおまんじゅう作り、カイクを育ててまゆ工作、季節のスタンプラリー等、52事業72日間実施することができました。参加者は、2,317人で、そのうち市内の利用者は1,619人となり昨年度と比較して5%増加しました。

まゆドームや公園を利用した子どもを対象とした団体の利用は109団体5,143人でした。校外学習等で来館した団体向けにストラップ作りやスライム作り、ブーメラン作り、フリスビー作りの体験学習を希望団体には実施しました。

公園に訪れた子ども達がいつでも行うことができる常設事業の子どものもりトレイルやはっぱさがし、いきものさがし、どんぐりさがしは、延べ人数で3,862人の利用がありました。

### 【今後の課題・取り組み】

公園の自然を利用した体験学習に子ども達が参加しやすいよう内容、参加人数、日時、料金等を検討していきます。

団体利用に対しては、発達段階に合った利用内容や方法を提示し、公園の自然とふれあったり、遊んだりしながら、環境学習ができること、生活科や理科の学習と関連付けられることを冊子にまとめ関係機関に配布して、利用を促していきます。

#### 学識経験者の意見

- ・まなびい先生事業が、前年度より回数が若干減少し、参加人数が大幅に減少しているように見受けられます。難しい状況にあるとは思いますが、企画や人材確保にいつその工夫の余地がありそうです。
- ・男性の公民館参加を促す事業は貴重な試みです。男性や若者の公民館利用はどこでもかねてからの課題であり続けていますが、教室・講座の種類や内容の面で創意工夫を重ね、地道な努力を継続していくことを期待します。

## 4 読書の街づくりの推進

### ◆地域や家庭、学校に読書活動を普及します！◆

読書マラソンカードを活用した家庭読書（家読）の推進、親子でぴよんぴよん、公民館、まゆドームや幼稚園での読み聞かせ、街角文庫の充実等を通して、地域、家庭、学校への読書活動の普及に努めました。

#### (1) 本がつなぐ仲間づくりの推進

##### ア 読書サポーター活動の促進

読み聞かせのスキルアップのために、学校で読み聞かせをする読書ボランティアと地域で読み聞かせをする読書サポーター、それぞれを対象にした講座を2回実施しました。

読み聞かせに関わる人たちの交流と読み聞かせのスキルアップのために「読み聞かせボランティア交流会」を市内8箇所で開催しました。

まゆドームで、第二土曜日に読み聞かせを2回、読書サポーターの協力を得ながら定期的を開催することで、読書サポーターに読み聞かせ活動の機会を提供することができました。そして、読み聞かせを24回実施し、455人の参加がありました。



読み聞かせボランティア交流会

#### 【今後の課題・取り組み】

読み聞かせスキルアップ講座は、市民のニーズがとても高いので、引き続き適任の講師を選定し、実施していきます。

読み聞かせボランティア交流会は、たくさんの市民に参加してもらえるように、読み聞かせボランティア交流会とスキルアップ講座を関連させながら実施していきます。

#### (2) 本との出会いの拡充

##### ア 地域ぐるみの読書活動の推進

「いせさき街角文庫」に定期的に本を補充したり、整理したりして、利用したい環境づくりに努めてきたことで、5,347冊の利用がありました。

選定した「伊勢崎市親子が推薦する図書101」の図書を対象にした読書感想文を募集したところ、昨年度の3.5倍の1,334点の応募がありました。幼稚園での読み聞かせを117回、園児4,986人に実施することができました。



いせさき街角文庫

## 【今後の課題・取り組み】

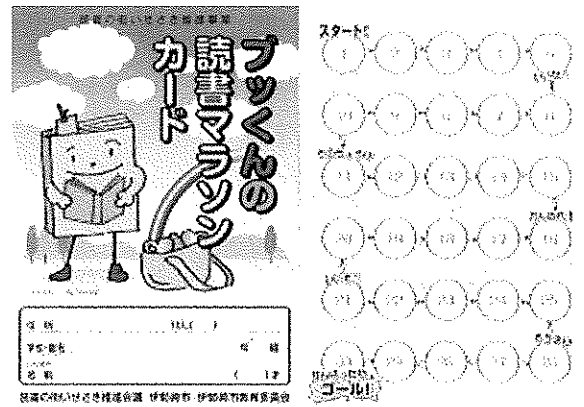
いせさき街角文庫の管理と幼稚園の読み聞かせを行なってきた緊急雇用による職員が、来年度はいなくなるため、新たに全市民対象に二つの事業をボランティアでやってくれる人（市民読書サポーター）を募集し、今まで以上に市民参加の読書推進事業を進めていきます。

### (3) 本とのふれあいの創出

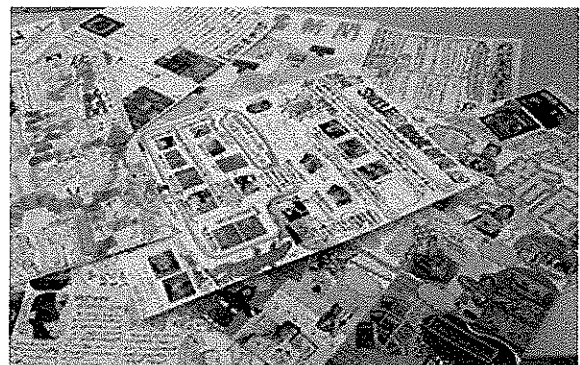
#### ア 「家族で家読を」運動の推進

読書マラソンカードを活用し、「家族で家読を」の運動を展開してきました。1冊読んだら感想をおすすめカードに書き、それを提出して交換に受け取ったシールを読書マラソンカードに貼り、30枚貼れたら提出してもらいました。

小・中学校からおすすめカードが28,131枚、読書マラソンカードは幼稚園を含めて、1,895枚の提出がありました。この読書マラソンカードを活用した取組において、70,628冊の本が読まれました。家読を推進するために、親子を対象に「親子ふれあい読書新聞」作品の募集をしたところ、274点の応募がありました。その作品を市PTA連合会読書推進委員会で選考し、32点を入賞としました。



読書マラソンカード



親子ふれあい読書新聞

## 【今後の課題・取り組み】

提出された読書マラソンカードとおすすめカードの処理をやってきた緊急雇用による職員がいなくなることから、カードの処理をできるだけ簡略化し、関係のある図書館課と連携を図りながら読書マラソンカードを活用した読書推進活動の進め方を検討していきます。

### ◆家族がふれあい、豊かな心を育む街づくりを推進します！◆

市内4つの図書館の特色を活かした活動や連携により、季節や世代に合わせた市民一体型の事業を多数実施し、親子読書の推奨・推進を図りながら、本がつながる家族づくり・街づくりに取り組みました。

#### (1) 本がつながる家族の絆づくりと読書環境の整備

##### ア 図書館トリプルフォー戦略

季節や世代に合わせ、それぞれの図書館の特色を活かした事業を実施しました。

事業の実施にあたっては、図書館だよりや市広報紙、ホームページへの掲載をはじめ、新聞紙やフリーペーパー、民間のホームページなどへの掲載依頼を積極的に行い、多くの参加者を得ることができました。

#### (ア) 四季に合わせた事業

- ・こどもの日イベント、夏休み調べ学習・手作り絵本教室、秋の夜語り、クリスマス会等

#### (イ) 四世代（親子・小中学生・高校大学生・成人）に合わせた事業

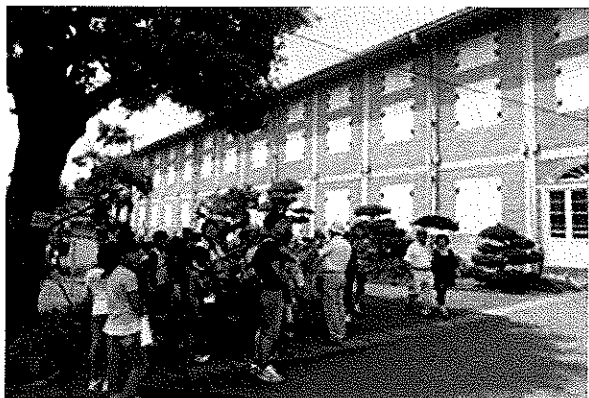
- ・人形劇・親子映画会、一日図書館員、見学学習会、文学講座・文学歴史散歩等

#### (ウ) 四図書館の特色を活かしながら連携した事業

- ・世界遺産応援事業（見学学習会・展示・講座・映画会）、読書感想文書き方講座等



手作り絵本教室



世界遺産応援事業（見学学習会）

#### 【今後の課題・取り組み】

本がつなぐ家族の絆づくりと読書環境の整備をより推進するため、ライフステージ（幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期）のニーズに合わせたサービスの拡充を図ります。

また、課題解決支援サービスを行うため、ビジネス支援コーナーや子育て支援コーナー等を設置し、関係各機関と連携して役立つ情報を提供します。

## (2) 親子読書の推奨・推進

### ア ブックスタートから絆事業へ

親子でふれあいながら本や図書館に親んでもらう機会となることを目的として、10か月健康相談会場で毎月ブックスタートを行いました。今年度は1,706組の親子に3,412冊の絵本をプレゼントしました。平成17年度から累積すると、14,579組の親子に27,332冊の絵本をプレゼントしたことになります。

ブックスタートをきっかけに、さらに親子の絆を深めながら読書習慣を身に付けてもらうため、読み聞かせ会や手作り絵本教室、ときめきブックカフェなどを開催しました。

また、赤ちゃんの駅に絵本を配付し、より多く絵本を手にする機会の提供に努めました。



ブックスタート



### 【今後の課題・取り組み】

ブックスタートを引き続き行うとともに、さらに発展させるため、親子で参加できる事業（読み聞かせ会、手作り絵本教室等）を多くの方が参加しやすいよう工夫しながら開催し、親子読書の推進を図ります。

### (3) 市民一体型の図書館活動

#### ア レファレンスサポーター制度の導入

レファレンスサービスやイベント等の事業で、各分野に精通している人々に協力していただき、市民一体となった図書館活動に取り組みました。

書架の整理や読み聞かせ会等では、ボランティアとして多数の人に登録していただき、年間を通して活躍していただきました。

### 【今後の課題・取り組み】

書架の整理や読み聞かせ等の定期的な事業と随時的な事業の両方において、市民ボランティアの発掘・活用に努め、より多方面にわたる図書館活動の拡充を図ります。

#### 学識経験者の意見

- ・読書の街づくりを「活動づくり施策」の1つとして新たに項目を特立したことは、市がこれを重視していることの現れとして評価できます。
- ・読み聞かせに携わるボランティア市民のニーズの高さは、市の読書に臨む姿勢の高さを反映したものにほかならず、こうした高いニーズに応えていっそうのレベルアップを図ることは、市教委側の任務でもあります。
- ・地域ぐるみ読書活動や「家読」の躍進は高く評価できます。
- ・「親子ふれあい読書新聞」募集は、家読を推進する上でのアイデアに富んだ事業と思われます。
- ・長く続いている「ブックスタート」は、読書を大切にしようとする姿勢を示す意義深いもので、さらに充実していくことを希望します。

## 5 郷土の歴史や文化の伝承と郷土愛の育成

### ◆かけがえのない文化財の保存・活用と継承に努めます！◆

文化財の調査では、国指定史跡化を目指す三軒屋遺跡、追加指定に向けた準備を進める史跡女堀について発掘調査を行い、同時に現場説明会を通して市民の理解を深められるよう努めました。

文化財の保存では、史跡指定を果たした田島弥平旧宅の世界遺産登録に向け、管理団体として保存管理計画を作成しました。また、史跡指定記念式典の開催や周辺環境の整備を通して世界遺産登録を目指し住民意識の高揚を図りました。

文化財の活用・継承では、赤堀歴史民俗資料館の企画展をはじめ、文化財パネル展や歴史文化講座などを開催し、文化財の普及啓発に努めました。

### (1) 文化財の調査

#### ア 三軒屋遺跡の国指定史跡化

前年度までの調査により正倉域が確定できたので、これまでの調査成果をまとめた調査報告書（総括編）を2月に作成するとともに、国指定に向け文化庁と事前協議を進めました。

1月には佐位郡衙に関連した遺構の検出を目指して奈良文化財研究所に業務を委託し、地下レーダー探査を実施しました。

啓発事業では、8月に「古代の役所展」を民間商業施設で開催しました。見学者は1,572人であり、多くの市民に三軒屋遺跡の理解を深めることができました。

#### イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進

平成22年度から開始した保存整備活用事業は、2年目となる発掘調査を10月から翌年1月までの4か月間に205㎡の範囲で実施しました。

調査の結果、小間割が再確認でき、谷地部は自然の形状を保っていたことから、女堀は分水による灌漑を目的としたものでなく、谷地をまたいで工事が行われたことが確認できました。

啓発事業では、6月の花ショウブ園まつりにパ  
ンフレットの配布や発掘調査成果をパネル展示



史跡女堀発掘調査現場説明会

で解説するとともに、12月に発掘調査現場説明会を開催し130人の参加があり、史跡女堀の理解を深めることができました。

#### 【今後の課題・取り組み】

三軒屋遺跡は国指定に向け、国や地権者との調整を行い、指定申請に向けた準備を進めるとともに、市民に啓発活動を行い、遺跡の重要性についてより理解を深めるよう努めます。

史跡女堀は、遺構の確認調査を継続するとともに、追加指定に向けた準備作業を進め、関係者との

連絡調整に努めます。

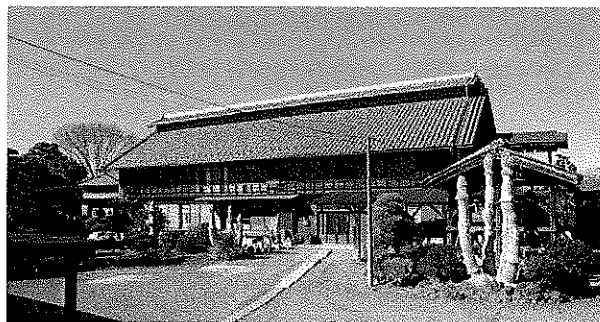
## (2) 文化財の保存

### ア 田島弥平旧宅の保存・管理の推進

調査検討委員会を4回開催し、12月に田島弥平旧宅保存管理計画を作成するとともに、絹産業遺産群の世界遺産推薦決定に伴い、企画部と連携して見学者の受入れ態勢の拡充と環境整備を推進し、12月に田島弥平旧宅案内所を開設しました。

### イ 文化財指定の推進

田島弥平旧宅は、6月の国文化審議会による答申に基づき、9月19日に史跡に指定されました。これに伴い10月に史跡指定記念式典を開催し、1,000人程の参加者がありました。なお、1月30日に伊勢崎市が管理団体に指定されました。



国指定を受けた田島弥平旧宅

茂呂地区の屋台囃子は、聞き取り調査及び飯福神社の秋祭で現地調査を実施し、2月の文化財調査委員会において指定相当であるとの答申が提出

され、3月26日付で重要無形民俗文化財に指定されました。

### ウ 指定文化財の保存管理

市指定重要文化財旧森村家住宅は、平成23年度に震災の修復が完了したため、平成24年4月から一般公開を再開するとともに、その後長屋門壁、土塀瓦を補修しました。

県指定天然記念物「連取のマツ」は、前年度に引続き連取町区へ業務を委託し、保護養生事業を実施しました。

文化財防火デー事業は、田島弥平旧宅を会場に、当主、蚕種の会、境島小学校児童、地域住民及び地元消防団などの協力により防火訓練を実施し、150人の参加者がありました。

はたおり体験教室は、対象学年が小学3年生へ変更されたことに伴い、23校の3年生と4年生の児童3,770人が体験しました。

#### 【今後の課題・取り組み】

史跡田島弥平旧宅の建造物は、建築後相当年数が経過しているため、今後詳細な建物調査を行い、その評価のもとに整備活用を図ります。また、絹産業遺産群の世界遺産推薦に伴うイコモスの調査や見学者の増大を踏まえて、史跡の環境整備や案内所の充実を図ります。

## (3) 文化財の活用・継承

### ア 文化財普及啓発事業の推進

民間商業施設を活用した企画展示「古代の役所展」、市庁舎市民ホール・市民サービスセンターで文化財パネル展「女堀」を開催して、文化財の普及啓発を図りました。

文化財解説では、健康づくり課主管の「はつらつ健康ウォーキング」の際に、地域の文化財解説を行いました。(6月：大国神社、10月：鶴巻古墳、3月：田島弥平旧宅)



はつらつ健康ウォーキングの際の文化財解説

## イ 赤堀歴史民俗資料館の充実

企画展は、国史跡指定にあわせて8月に「田島弥平展」、3月に郷土の「探検家 矢島保治郎展」を開催するとともに特別講座を開催しました。

季節展は、「端午の節句展」、「あったか民具展」、「昔の遊び展」など季節感のある展示を5回実施しました。

歴史文化講座は、「中近世の石造物と墓」など「墓」をテーマに5回開催しました。

なお、ホールにスポットライト、フック等を設置し展示環境の改善を図りました。本年度の開館日数は307日間で、入館者数は6,433人でした。



企画展(探検家矢島保治郎展、ひなまつり展)

## ウ 文化財保存団体・管理団体等との連携

市指定無形民俗文化財「栄町祭礼囃子」は、文化庁補助事業により民俗芸能の映像記録を製作するとともに、無形民俗文化財の継承活動を支援しました。

### 【今後の課題・取り組み】

文化財所有者及び庁内関係課との連携を図り、市民が地域の文化財に触れる機会を増やし、ふるさと意識の醸成に努めます。

赤堀歴史民俗資料館では、郷土の埋もれた人物を広く紹介する企画展や歴史文化講座の開催、地域の民俗行事を取り上げる季節展の開催に努めます。

### 学識経験者の意見

- ・田島弥平旧宅の史跡指定をはじめ、市内に多くの貴重な文化財があり、これらを長期にわたって調査し大切にしてきたことに敬意を表します。
- ・これら市内の貴重な文化財を、さらに広く発信し、その方面からも伊勢崎市を全国に向けて知ってもらう手立てをいっそう積極的に講じていかれんことを期待します。

## 6 安心・安全を大切にした健康教育の充実

### ◆子どもたちの健康をつくり、安全を守ります！◆

京都府での重大な児童の交通事故を受け、市民の交通安全への関心が高まり、通学路の安全点検を徹底するとともに関係機関や学校、地域との連携を強め通学路の安全対策に努めました。

また、放射能汚染を心配する市民に配慮し、学校施設内の放射線測定や給食食材の放射能物質検査を徹底し、児童生徒の健康維持に努めました。

さらに、健康な生活を送るために欠かせない健全な食生活を推進するために年間指導計画に基づく児童生徒への食育指導と保護者に向けての普及啓発活動に努めました。

そのほか、児童生徒が心身ともに健康で活力ある生活が送れるよう学校保健の充実と体力の向上に努めました。

### (1) 学校保健の推進

#### ア 計画的・組織的な学校保健活動の推進

各学校では学校保健計画を作成し、自校の子どもの健康課題の解決に向け、家庭や関係機関と連携を図りながら取り組みました。(学校保健計画作成立率100%)

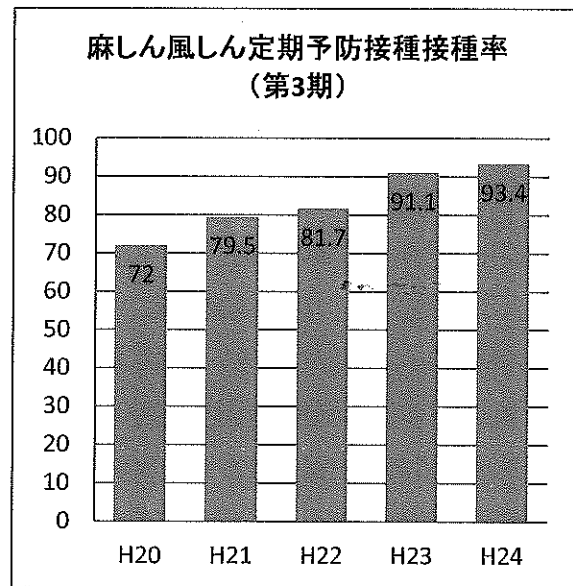
また、学校評価や行事後のアンケート調査や聞き取り調査等、各学校で工夫しながら組織的な評価を行い、改善に努めました。

#### イ 感染症、食中毒等の予防対策の徹底

群馬県感染症欠席者情報収集システムを活用し、迅速かつ適切に各学校園や地域、県等の情報を把握するとともに共有して対策の徹底に努めました。

学校薬剤師と連携して学校環境衛生検査を実施し、学習環境の改善維持に努めました。

また、校庭、学校プール、教室等の放射線量、放射性物質の測定を行い、本市 Web ページにて公表しました。



#### ウ 発達段階に応じた性教育・薬物乱用防止教室等に関わる指導の充実

健康教育充実プラン検討委員会を立ち上げ、小中9年間を見通した指導計画のモデルプランの作成に着手しました。

性に関する教育では、小学校では生命を育む講座(県助産師会)、中学校では産婦人科医を講師とした講演会を実施する学校が増加してきました。(H24 実施校: 32校・実施率: 84%)

また、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導では、全中学校において薬物乱用防止教室を開催し、

小学校においても保健福祉事務所や警察と連携して、薬物乱用防止教室を実施する学校が増加しており、指導の充実が図られてきました。(H24 実施校：26 校・実施率：68%)

### 【今後の課題・取り組み】

計画的・組織的な学校保健活動の推進において、PDCAサイクルのマネジメントサイクルをより組織的かつ効果的にしていくことにより成果が期待できると言えます。そのために、評価と改善をいかに的確に行っていくかが課題であり、今後は評価の充実を図りながら学校保健の一層の推進を目指します。

また、性教育・薬物乱用防止教育等に関わる指導では、健康教育充実プラン検討委員会を継続させ、指導計画に基づいた実践を行うとともに、各中学校区に9年間を見通した指導計画を作成し指導の充実を目指します。

## (2) 食育の推進と学校給食の安全性の確保

### ア 安心安全な学校給食の提供

新鮮でおいしく、安心・安全な給食を提供するためJA佐波伊勢崎、生産者団体等の協力により学校給食における地場産野菜の利用拡大を実施しました。

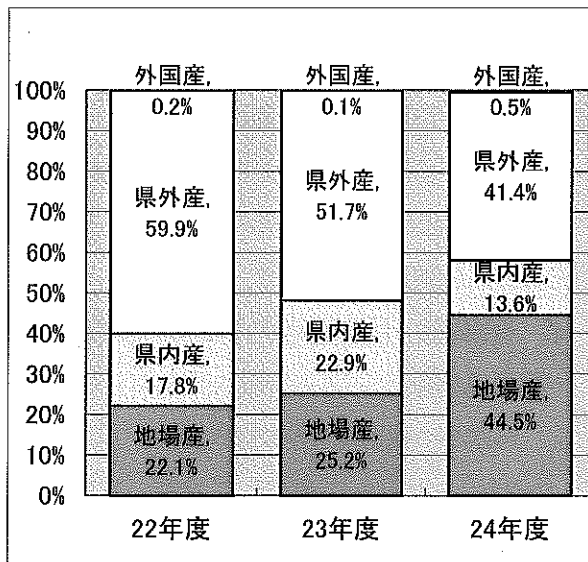
平成24年度地場産野菜等の使用割合は、4月より米飯給食において伊勢崎産の米を使用したことから3月末現在使用率は44.5%で、平成23年度より使用実績が増えました。

また、伊勢崎市農業委員会より学校給食に地場産のジャガイモの寄贈の際に、種芋の植付、収穫に采女小学校ひまわり学級児童、第二中学校特別支援学級1年、3年生の生徒が参加し実施できました

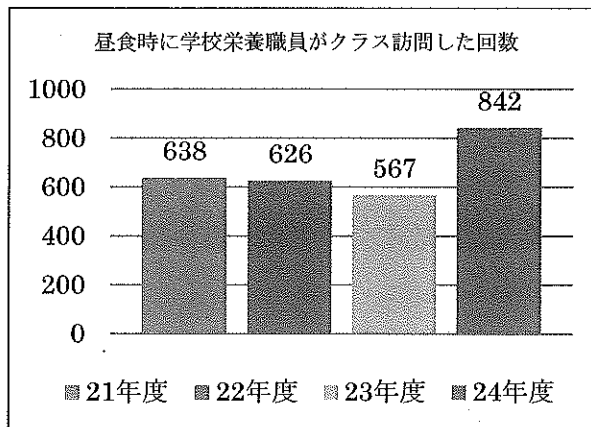
### イ 食に関する年間指導計画を活用した指導実践

成長過程にある児童生徒が食の大切さを理解し、健康な身体を培い、食を通じて豊かな人間性を育むために、学校栄養職員による給食を生きる教材として活用した食育の指導を実施しました。

- ・給食時のクラス訪問の回数 842 回
- ・給食だより発行 73 回
- ・校内掲示物 29 枚
- ・PTA 試食会・親子料理教室 1,241 人
- ・アレルギー資料配布 延べ 645 人



学校給食の地場産野菜等使用割合の推移



(ア) いせさき家族で「いただきます」の日普及啓発事業

a いせさき家族で「いただきます」の日推進会議の開催

学校関係者、保護者、関係各課の代表者 20 人を招集し推進会議を開催しました。

- ・第1回 7月11日「事業提案・協力依頼」
- ・第2回 2月14日「事業報告・来年度の方向性」

事業に対する活発な話し合いがもたれ、関係諸団体の創意工夫した事業協力を得ることができました。



推進会議の様子

b 市民への啓発活動

いせさき家族で「いただきます」の日フェスタを開催し広く市民に向けて事業啓発を行いました。

- ・親子で取り組む夏休み作品募集「家族川柳」、「我が家のおすすめレシピ」の作品展示ならびに優秀賞の表彰式
- ・食卓を飾る手作り工作コーナー
- ・今と昔の給食の展示 等

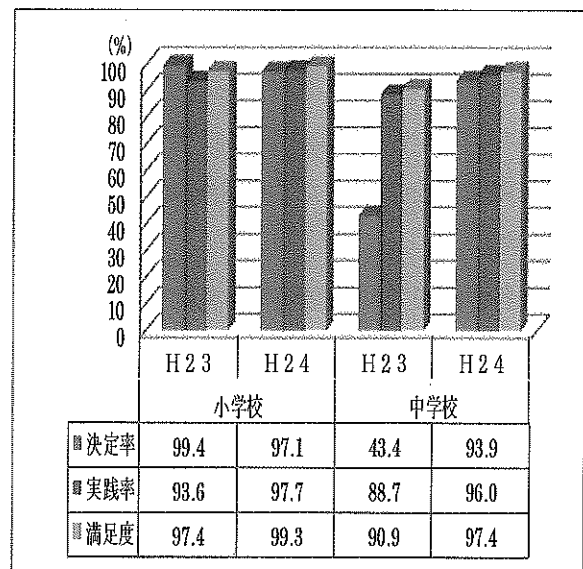


工作コーナーの様子

c 強化月間の設定

家族が集う機会が多い年末年始を含む 12 月と 1 月を強化月間として位置づけ、児童生徒全員とその保護者を対象にアンケート調査を実施し実態把握に努めました。

家族団欒の日を決められた割合は小学校で若干下がったものの、中学校の決定率は大幅に上昇しました。また、小中ともに親子が集うことができた割合、楽しく有意義な時間を過ごすことができたと回答した割合は上昇しました。

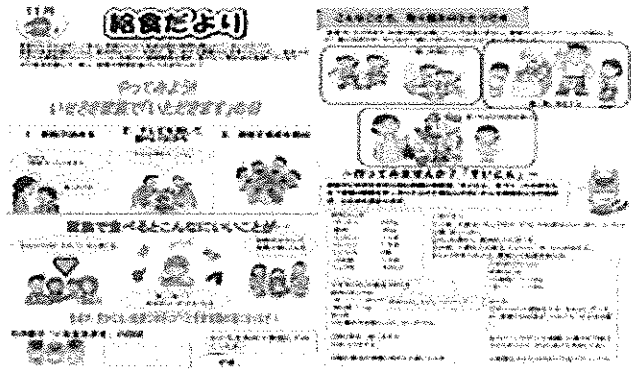


家族でTry!いただきます強化月間の結果

ウ 食育情報発信

児童生徒に安全な給食を提供する手段の一つとして給食・食材の放射性物質検査を行い、その結果は全てホームページへ掲載し周知を図りました。

また各調理場で作成された献立表と全家庭へ配布する「給食だより特別号」をそれぞれホームページに掲載して学校給食の取り組みを情報提供することができました。



給食だより

**【今後の課題・取り組み】**

食を取り巻く現状を踏まえ、児童生徒が食の大切さを理解し、心も身体も元気で豊かな人間性を培うため、いせさき家族で「いただきます」の日の取り組みを進めつつ、学校給食を活用した学校・家庭・地域を視野に入れた食育指導の充実をめざします。

また、学校給食を通じて郷土の農産物や食文化、郷土料理等について理解を深め、地場農産物に対する関心を高められるよう学校栄養職員による学校訪問及び情報提供の充実に努めます。

さらに、JA佐波伊勢崎、生産者団体、農政課等関係機関との連携をより一層強化するとともに、今後においても米飯給食の伊勢崎産米の使用を促進し、学校給食への地場産農産物の利用拡大を図り、顔の見える食材を活用した安心・安全な給食を提供できるよう目指していきます。

**(3) 学校安全の推進**

**ア 災害・緊急時等の対応訓練の充実**

昨年度の東日本大震災を受け各学校で災害対応マニュアルの見直しが図られました。併せて、その実効性を高めるための避難訓練が実施されました。

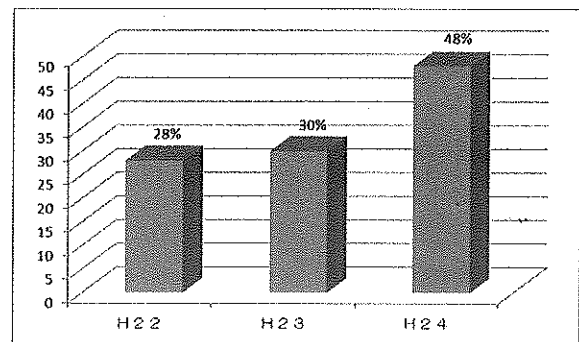
(各学校園での避難訓練実施総回数 171 回)



保護者への引き渡し訓練の様子

**イ 通学路の安全対策**

「通学路安全対策協議会」を立ち上げ、学校と保護者の協働で実施した通学路危険箇所点検の結果を基に、緊急合同点検を実施しました。児童生徒の交通安全に対する地域の人々の理解も深まり、多くの場所で安全対策を講じることができました。



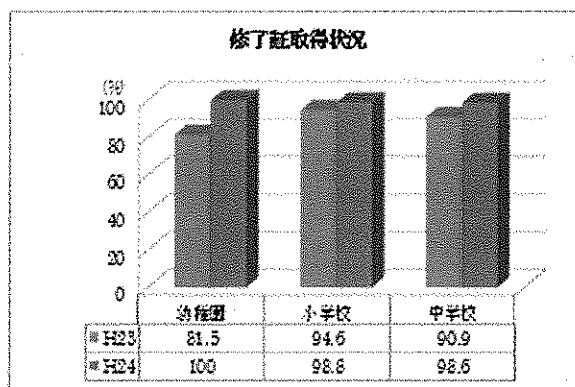
要望書に対する安全対策実施率の推移



## ウ AED普通救命講習会の受講

他市町村からの転入職員や新規採用職員の未受講者(32人)を対象に学校安全主任会と協働で講習会を開催しました。

また、今年度は過去の受講歴から4年以上経過した職員を対象に講習会を開催し、緊急時に誰でもすぐに対応できる体制整備に努めました。



### 【今後の課題・取り組み】

重大事故が多発していることを受け、各関係機関との連携を強化し、対策を講じることができるものは直ちに安全対策を行いました。しかし、学校・地域・保護者の目線は運転手の立場のものが多いため、もっと歩行者側の児童生徒の意見を反映させる必要性があるという通学路安全対策協議会の意見が多数あり、来年度の危険箇所調査に盛り込みより充実させたいと考えています。

また、東日本大震災の教訓から災害マニュアルの見直しを全学校園で行いましたが、他の学校の様子も知りたいという意見を受け実践発表の機会を設けました。職員の意識高揚につながりましたので来年度も定期的に情報交換ができる機会をつくり市内全体で万全な体制がとれるようなマニュアルの整備に努めたいと考えております。

## (4) 体力の向上

### ア 児童・生徒の体力の状況に即した指導の充実

新体力テストや生活・学習状況調査の結果から体力の状況や課題を把握し、研究所や体育主任会を中心に体力向上に向けた取組を推進したことにより、積極的に運動に取り組もうとする児童生徒が増えました。

### イ 体育主任会等との連携による効果的な体力づくりの啓発

教育研究所の体育班が作成した「体力アップメニュー」や「体力アップカード」を、体育主任会と連携し効果的に活用したことで、運動好きな児童生徒が増えました。

### ウ 継続的な体力向上に向けた環境づくり

小学校では、休み時間等に行う業間運動を推進したことで、年間を通して業間運動に取り組む学校が増え、持久力や走力が向上しました。

また、運動部活動では、地域や家庭と連携しながら日常的に体力向上に繋がる環境づくりを推進したことで、体力が向上しました。



休み時間に走る子どもたち

### 【今後の課題・取り組み】

小中全学年で導入された「体づくり運動」を一層重視し、運動のできる喜びや工夫する楽しさを味

わうことのできる授業を実施することで、積極的に運動に取り組もうとする児童生徒の育成に努めます。

#### 学識経験者の意見

- ・健康教育充実プラン検討委員会を立ち上げて性教育等のプラン作成に着手したので、今後は当該プランの実施・点検等を継続・充実していくことを期待します。
- ・食育に関するクラス訪問回数及びPTA試食会参加者が増加したことは、関係者の努力の成果と思われれます。
- ・家族で「いただきます」の日普及啓発事業に伴う強化月間アンケート調査の良好な結果が、当該月間だけでなく通常期間においても持続するよう努力を怠らないよう希望します。
- ・災害に備えての安全対策は、東日本大震災ご2年余を経過し、その記憶がともしれば薄れがちになっていると指摘されてもいるので、災害時のマニュアルや対応訓練等、引き続き注意を払っていくことが不可欠と考えます。
- ・AED講習会に関し、受講歴4年以上の職員をも対象としたことは意義あることと考えます。今後も1回のみならず、くり返しの受講を勧めるようお願いします。

## 7 奉仕活動の支援・充実と活用

### ◆地域の学校いきいきプランで教育活動を充実させます！◆

スマイルサポーターやカリキュラムパートナーとの協働により、子どもたちの夢や希望を育む「未来力」学習講座をはじめ、質の高い教育活動の実施を目指しました。

#### (1) スマイルサポーターの活用

##### ア 学校支援ボランティアと協働した教育活動の実施

学校支援ボランティアは年々増加しており、平成24年度の登録者数は、市内で15,683人でした。

総合的な学習の時間などの体験活動や安全パトロール、読み聞かせ、教材教具づくりや校内環境づくりなど、授業内外において様々な活動に協力していただいたことにより、学力が向上したり、生活習慣が身に付いたりしました。

##### イ 企業や大学のカリキュラム パートナーと協働した教育活動の実施

2企業6大学のカリキュラムパートナーによる「未来力」学習講座として、大学教授による古典の授業や元オリンピック選手による授業、プロサッカー選手による体育授業など、カリキュラムパートナーを計64回も活用することができたことにより、夢や希望を将来の具体的な目標に変えることができた児童生徒が増えました。

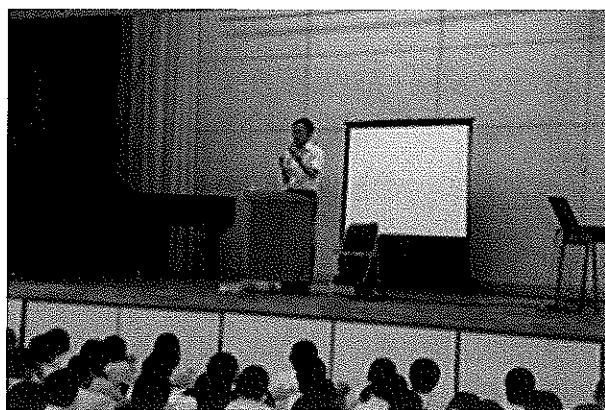
カリキュラムパートナーの企業・大学の連携担当者を委員とする「教育改革・いせさき未来会議」を2回実施し、未来会議委員から、教育に関わる貴重な意見や提言を受け、今後の本市の教育活動の方向性に生かしていきます。



教育改革・いせさき未来会議

##### ウ 「未来力」学習講座の実施

企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が講師・外部指導者となり、子どもの夢や希望を育み目標を持たせることを目的として行う「未来力」学習講座を、全ての学校、全ての学年で実施できたことにより、多くの児童生徒が具体的な目標を持つことができ、目標を達成しようとする意欲や目標に近づくために必要な努力について、真剣に考えるようになってきました。



「未来力」学習講座（上武大学駅伝部 花田監督）

## 【今後の課題・取り組み】

学校支援センターにおいて、ボランティア活動を調整するコーディネーターやボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを引き続き育成し、組織的・継続的な教育活動の充実を図ります。

また、「未来力」学習講座の実施やカリキュラムパートナーの活用について意図的、計画的に行い、質の高い体験活動や専門的な学習や研修を一層充実させることにより、児童生徒が目標の実現に向けて主体的に取り組もうとする意欲の向上に努めます。

## ◆学んだ成果を活かす意識の醸成を図ります！◆

単に学んだだけでなく、学んで得た知識や技術を地域の人のために活用することの促進を目指しました。

### (1) 地域における奉仕活動への支援

#### ア 公民館事業等でのボランティア養成講座の開催

緊急時に対処できるように、ボランティアのAEDの操作方法の習得に努めた講座の開催(2回、参加者53人)や、各種の行事や納涼祭などでの活用を目的としたフェイスペイント体験講習会(1回、参加者30人)などを開催しました。

#### イ 公民館ボランティアサークルへの支援

サークル活動の成果発表の機会として、各地区文化祭や作品展の実施に対し支援を行いました。

また、地元区長、民生児童委員、ボランティア協会会員などとの連携によりひとり暮らし老人を対象とした戸外サービスへの支援(1回、参加者45人)や、公民館を中心に活動する「読み聞かせの会」での子どもたちを対象とした読み聞かせを兼ねたクリスマス会(1回、参加者66人)の開催などへの支援を行いました。

#### ウ 生涯学習支援ボランティアまなびい先生への支援

まなびい先生事業の周知を図るため、行政区の推進員をはじめ区長にもパンフレットを配布しました。また、まなびい先生自主企画事業の支援を行うため、広報で周知したり、チラシの作成等の支援を行いました。

## 【今後の課題・取り組み】

ボランティアの養成に関する講習の開催を増やすことや、ボランティアサークルへの支援事業の拡充を図っていくことが今後の課題です。

まなびい先生事業を広く周知するために、公民館事業と連携した事業の展開に取り組むことが今後の課題です。

まなびい先生事業の展開については、各公民館で実施する事業の中に、まなびい先生事業を取り入れて実施し、より多くの市民にまなびい先生が存在を周知して活用を図ります。

## (2) 地域の人材活用の推進

### ア 公民館事業等での学習成果の活用

地域住民が公民館での各種学級・講座で学んだ成果を活用すべく、子ども絵画・書初め教室、親子料理教室、子ども囲碁教室等(10回、参加者187人)、また文化祭、作品展などの開催を通して、その実践や推進に努めました。

### イ 生涯学習支援ボランティアまなびい先生、読書サポーター、機織ボランティア等としての活用

第二土曜日のまゆドームの読み聞かせや読書まつりは、読書サポーターの活用によって実施できました。また、まなびい先生は、ミニデイサービス事業や地域の生涯学習活動等において活用されました。

### ウ 図書館ボランティアとしての活用

読み聞かせや書架の整理など定期的な活動をするボランティアとして、またイベントの講師や演奏者、スタッフとして随時活動するボランティアとして活躍していただきました。

### エ まゆドーム「親子ふれあい事業」での活用

展示、常設以外の52の親子ふれあい事業の中で、21事業131人のボランティアを活用しました。

事業では、講師やボランティアとしての活用が主で、まなびい先生をはじめ、東京福祉大学の学生、伊勢崎ボランティア協会豊受支部、市民吹奏楽団、境アコーディオンサークル、県立伊勢崎商業高校吹奏楽部等の活用を図りました。

#### 【今後の課題・取り組み】

学習成果の活用については、文化祭や作品展での活用が主になっているように感じられるので、もっと広範囲において成果が活用されることが今後の課題です。

親子ふれあい事業の内容を理解した上での活用であるため、ねらいや目的に沿った人材を探していく必要があります。

今後もまなびい先生の活用を模索し、子どもを対象とした自主企画事業等への協力、広報に努めます。

#### 学識経験者の意見

- ・「未来力」学習講座が順調に展開し、充実の方向にあることが見て取れます。
- ・まなびい先生が自主的に事業や口座を展開して活躍できる機会と場を、さらに多く設けていくことが大切と考えます。
- ・読書を重視する施策を掲げていることから、図書館ボランティアのいっそうの活用をお願いします。

## 8 教育環境の整備・充実

### ◆快適な学習空間を創造します！◆

学校教育や生涯学習・社会教育を推進し、快適な学習空間を創造するために、教育施設の耐震化をはじめ、老朽化施設の改善、バリアフリー化、教育制度改革への対応や地域と連携した防犯・安全対策など、安心・安全な施設の整備を進めました。

また、環境変化の対応として、全学校に空調設備を整備するとともに、室温調整と環境教育の一環として、グリーン作戦などエコ活動に取り組みました。

### (1) 環境変化への対応

#### ア 空調設備整備

##### (ア) 小学校空調設備工事 (24校)

工期 平成24年5月1日～平成24年8月31日

内容 空調方式：電気式ヒートポンプエアコン (EHP：18校)

ビル用マルチエアコン、天井吊形室内機を各教室へ設置

空調方式：ガスヒートポンプエアコン (GHP：5校)

：冷却塔一体型ガス炊き吸収式冷温水発生機設置 (北小)

天井吊形室内機を各教室へ設置 (※北小を除く)

##### (イ) 養護学校空調設備工事

工期 平成24年8月2日～平成24年10月31日

内容 空調方式：電気式ヒートポンプエアコン

天井吊形室内機を各教室へ設置

##### (ウ) 幼稚園空調設備工事 (10園)

工期 平成24年11月1日～平成25年1月28日

内容 空調方式：電気式ヒートポンプエアコン

シングルタイプを各保育室へ設置

##### (エ) 中学校空調設備工事 (11校)

工期 平成24年11月1日～平成25年3月15日

内容 空調方式：電気式ヒートポンプエアコン (EHP：9校)

ビル用マルチエアコン (※二中で一部シングルタイプ)、天井吊形室内機を各教室へ設置

シングルタイプ設置 (二中のみ)

空調方式：ガスヒートポンプエアコン (GHP：2校)

天井吊形室内機を各教室へ設置

#### イ グリーン作戦の展開

近年の異常気象の典型である酷暑への対策として、今年度も昨年に引き続き、各学校施設で「エコ

で夏を乗り切ろう！作戦2」を合言葉に、環境教育と暑さ対策・節電対策に取り組みました。

(ア) グリーン作戦の展開

- ①グリーンカーテン(ヘチマ・ゴーヤ等)の設置(全46施設 実施率100%)
- ②ベランダ等へ「よしず」の設置
- ③教室周辺への水打ち・屋上への散水
- ④風の流れを考慮した窓の展開
- ⑤遮光カーテンの設置
- ⑥ミストシャワーの試験導入

(単位:kwh)

	H22年度使用量	H24年度使用量	H22年度比
幼稚園	20,195	16,900	(-16%) -3,295
小学校	686,112	594,576	(-13%) -91,536
中学校	411,985	375,659	(-9%) -36,326
合計	1,118,292	987,135	(-11%) -131,157

H24年度7・8月節電実績



その結果、教室内の温度が下がるなど、遮熱効果が現れました。また、今夏はヘチマやゴーヤだけでなく、琉球朝顔、ひょうたん、スイカなど様々な品種の植栽を行い、植物の構造や成長の様子の観察・収穫等により、教材として活用し環境教育にも大きな成果をもたらしました。

(イ) 身近な節電対策の実践

- ①不必要な照明や電子機器の待機電力のカット
- ②エアコンの設定温度の調整(28℃設定の徹底)
- ③離席時のPCスリープ設定

その結果、学校施設全体で7月～8月を通しての消費電力が平成22年度比▲11%となり、大幅な削減、節電に成功しました。

【今後の課題・取り組み】

今年度において、全ての学校にエアコンが整備され快適な室温が確保されました。今後もグリーンカーテンをはじめ、「エコで夏を乗り切ろう！作戦」を持続しつつ、エアコンと組み合わせた新たなエコスタイルを確立し、各学校の創意工夫による環境教育の一層の充実を図るとともに、子どもたちの健康と生活・学習環境の向上を目指します。

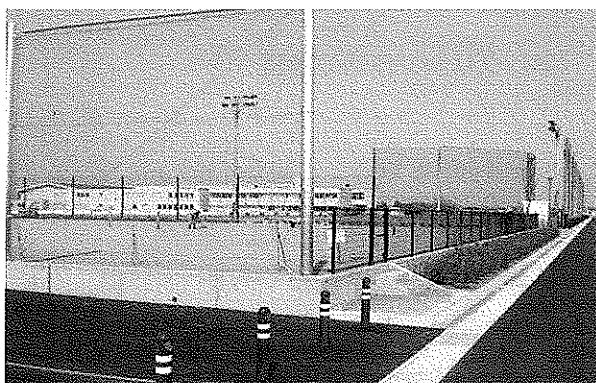
(2) 学習空間の確保

ア 赤堀中学校の整備

関東農政局と農地転用に係る大臣許可の事前協議が整い、正式な農地転用申請を提出しました。また、事業認定申請書が受理され、土地収用法による事業の認定が通知されました。年度内に予定地の売買契約、登記、基本設計が完成しました。

### イ 宮郷中学校の整備

昨年度用地買収した東側の土地に、グラウンド造成工事、道路築造工事（1工区）（2工区）、自転車置場設置等工事及び夜間照明設備工事を実施しました。



宮郷中学校グラウンド整備

#### 【今後の課題・取り組み】

赤堀中学校整備事業については、平成25年度に校舎、体育館等の実施設計を行い、その後各種工事の発注、工事監理を行ってまいります。平成27年4月開校を目途として計画を進めます。

## (3) 安心安全な学校環境の整備

### ア 耐震補強工事

#### (ア) 豊受小学校体育館耐震補強工事

工期 平成24年5月17日～平成24年9月28日

建築面積 856.87 m<sup>2</sup> 延床面積 891.30 m<sup>2</sup> 構造 鉄骨造2階建

補強内容 鉄骨アングルブレース補強、山形フレーム接合部補強、玄関庇片持ち梁方杖補強

#### (イ) 名和小学校体育館耐震改修工事

工期 平成24年6月7日～平成24年10月10日

建築面積 856.87 m<sup>2</sup> 延床面積 891 m<sup>2</sup> 構造 鉄骨造2階建

補強内容 鉄骨アングルブレース補強、鉄骨接合部溶接補強、玄関庇片持ち梁方杖補強

#### (ウ) 境西中学校体育館耐震補強工事

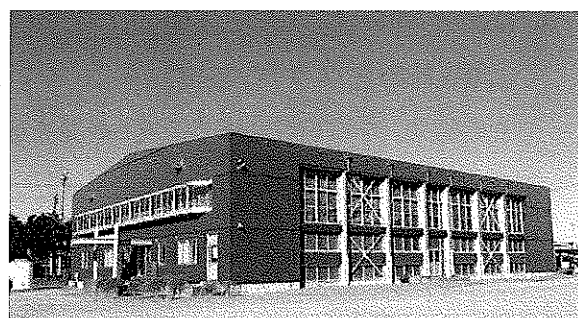
工期 平成24年7月24日～平成24年12月28日

建築面積 1,074.40 m<sup>2</sup>

延床面積 1,275.91 m<sup>2</sup>

構造 鉄骨造2階建

補強内容 外壁改修、パラペット撤去、コンクリートブロック壁改修、屋根面既存ブレース撤去新設、桁行方向の鉄骨ブレース補強



境西中学校体育館耐震補強工事

#### (エ) 境東小学校体育館耐震補強工事

工期 平成24年9月25日～平成25年2月28日

建築面積 793.60 m<sup>2</sup> 延床面積 822.65 m<sup>2</sup> 構造 鉄骨造2階建



補強内容 桁行方向の地中梁、中間梁及び桁梁を追加し軸ブレースを2段に配置  
屋根面桁行方向の鉄骨ブレース補強

## イ その他工事

(ア) 宮郷小学校プール改築建築工事、電気設備工事、機械設備工事

工期 平成24年6月25日～平成25年1月31日

工事内容 FRP製25m、6コース(中・高学年用)、  
FRP製12m(低学年用)

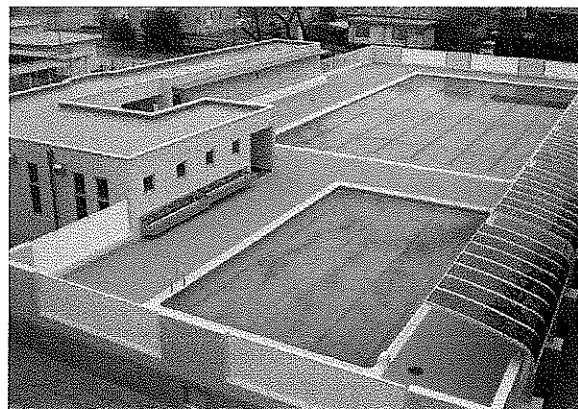
管理棟：鉄筋コンクリート造平屋建て

延床面積169.77㎡

日除け：アルミ製 延床面積79.56㎡

電気設備(幹線・動力、電灯コンセント、インターホン)

機械設備(給水、排水、衛生器具、消化、循環濾過、換気)



宮郷小学校プール

## ウ 耐震補強工事設計委託

名和小学校、境小学校、境采女小学校校舎及び殖蓮第二小学校、広瀬小学校、第三中学校体育館の耐震補強設計を実施しました。

また、学校施設以外の教育施設等の耐震対策については、伊勢崎市図書館、赤堀公民館、境采女公民館の耐震二次診断を実施しました。

## エ 教育施設整備計画の見直し

耐震診断の結果等を考慮し、施設整備計画の見直しを行っています。平成27年度末までに避難所指定の学校、体育館、公民館等を耐震化工事実施率100%となるよう計画しました。

### 【今後の課題・取り組み】

平成25年度には、小学校体育館(殖蓮第二、広瀬)、小学校校舎(境采女、境)、中学校体育館(第三)、幼稚園園舎(第一)の耐震改修工事を実施する予定です。

また、幼稚園園舎(南、あかぼり、あずま)、小学校校舎(広瀬、境東、殖蓮第二、豊受、殖蓮)、中学校校舎(第三)、中学校体育館(宮郷)の耐震補強設計を行う予定です。

### 学識経験者の意見

- ・空調整備や耐震補強が計画に沿って順調に進行していることが窺われます。教育施設整備計画の見直しとも連動して、さらに確実な実施を進めていくようお願いします。
- ・グリーン作戦をさらにグレードアップし、多くの品種の植栽に伴って環境教育につなげたのは上出来でした。次年度以降もこれをさらに推進することを期待します。



## IV おわりに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に基づく点検評価及び公表は、教育委員会が事前に立てた教育行政方針に沿って具体的な教育委員会事業が効果的に執行されているかどうかについて、自らが事後に点検及び評価し、その結果を公表することを通して、市民に対する説明責任を果たし、その活動の充実を図ることを目的としています。

今後、本市教育委員会の取り組みに対する市民の皆様のご意見をいただき、教育行政をより一層充実させていきたいと考えております。

また、この点検及び評価における「学識経験を有する者の知見の活用」に際しましては、高崎健康福祉大学の森部英生教授にご指導及びご助言をいただきました。

ここに深甚なる感謝を表しますとともに、ご指摘いただいた点につきましては、今後の教育行政の運営に最大限反映させていきたいと考えております。

平成 25 年 5 月

伊勢崎市教育委員会

委員長 茂 木 克

委員長職務代行者

大 山 祐理子

委 員 多部田 敬 三

委 員 萩 原 裕 子

教育長 徳 江 基 行

《ご意見等の送付先》

〒372-8501

伊勢崎市今泉町二丁目410番地

伊勢崎市教育委員会総務課

電話 (0270) 27-2785

メールアドレス k-soumu@city.isesaki.lg.jp